

- 三 偉人ノ事蹟ヲ授クルニ當リテハ其ノ性行、事業及當時ノ事情ヲ詳ニシ生徒徳性ノ涵養ニ資セシコトヲカムヘシ
 - 四 有名ナル詩歌、文章、傳記等ニシテ歴史ノ教授ニ資スヘキモノハ便宜之ヲ引用シテ興味ヲ助ケル
 - 五 特ニ學校所在地方ニ關係多キ事蹟ハ稍々詳ニシテ授クルヲ可トス
 - 六 外國歴史ハ特ニ我國ト關係アル事項ニ留意シテ之ヲ授クヘシ
 - 七 對照年表ヲ用ヒテ紀年ノ連絡ヲ知ラシムヘシ又成ルヘク地圖、實物、圖畫、標本等ヲ示シテ生徒ノ知識ヲ確實ナラシムヘシ
 - 八 地名人名等ノ稱呼ハ必シモ此ノ要目ノ示ス所ニ依ルコトヲ要セシム
 - 九 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ
- 御歴代表對照年表、各國帝王及諸家ノ系統表等ノ掛圖 日本沿革地圖、日本現代地圖 外國沿革地圖、外國現代地圖
- 著名ナル城邑戰場共ノ他古蹟ノ寫眞又ハ圖畫 著名ナル人物ノ肖像 古人ノ筆蹟、古文書等ノ實物又ハ模寫
- 風俗工藝ノ變遷、文化ノ程度等ヲ示ス實物模型又ハ圖畫

第一學年

每週一時

日本地理

總說

位置 地勢 氣候 住民 政治 生業 交通

地方誌

北海道、臺灣及府縣ノ區分ニ依ルル地方ノ天然上及人事上國民ノ生活ニ關スル事項

第二學年

每週一時

外國地理

總說

位置 地勢 氣候

朝鮮

支那

あじあ

あじあ

いらん地方

いんぞ

いんと支那半島

あいらし諸島

大洋洲

總說

前二學年

第一編 地理学

第一講 地理学の概観

第二講 地球の形状と面積

第三講 地球の緯度と経度

第四講 地球の気候

第五講 地球の地形

第六講 地球の地質

第七講 地球の生物

第八講 地球の人口

第九講 地球の交通

第十講 地球の歴史

第十一講 地球の未来

第十二講 地球の文化

第十三講 地球の宗教

第十四講 地球の政治

第十五講 地球の経済

第十六講 地球の社会

第十七講 地球の教育

第十八講 地球の科学

第十九講 地球の芸術

第二十講 地球の文学

第二十一講 地球の音楽

第二十二講 地球の美術

第二十三講 地球の演劇

第二十四講 地球の映画

第二十五講 地球のテレビ

第二十六講 地球のラジオ

第二十七講 地球のインターネット

第二十八講 地球の携帯電話

第二十九講 地球のパソコン

第三十講 地球のスマートフォン

第三十一講 地球のタブレット

第三十二講 地球のクラウド

第三十三講 地球のビッグデータ

第三十四講 地球の人工知能

第三十五講 地球のロボット

第三十六講 地球の宇宙

第三十七講 地球の環境

第三十八講 地球のエネルギー

第三十九講 地球の資源

第四十講 地球の持続可能な開発

第四十一講 地球のSDGs

第四十二講 地球の未来の展望

第四十三講 地球の希望

第四十四講 地球の夢

第四十五講 地球の理想

第四十六講 地球の信念

第四十七講 地球の意志

第四十八講 地球の力量

第四十九講 地球の智慧

第五十講 地球の愛

第五十一講 地球の平和

第五十二講 地球の繁栄

第五十三講 地球の幸福

第五十四講 地球の健康

第五十五講 地球の長寿

第五十六講 地球の富強

第五十七講 地球の民主

第五十八講 地球の法治

第五十九講 地球の公正

第六十講 地球の平等

第六十一講 地球の自由

第六十二講 地球の正義

第六十三講 地球の誠実

第六十四講 地球の勇敢

第六十五講 地球の忍耐

第六十六講 地球の謙遜

第六十七講 地球の忍耐

第六十八講 地球の忍耐

第六十九講 地球の忍耐

第七十講 地球の忍耐

第七十一講 地球の忍耐

第七十二講 地球の忍耐

第七十三講 地球の忍耐

第七十四講 地球の忍耐

第七十五講 地球の忍耐

第七十六講 地球の忍耐

第七十七講 地球の忍耐

第七十八講 地球の忍耐

第七十九講 地球の忍耐

第八十講 地球の忍耐

第八十一講 地球の忍耐

第八十二講 地球の忍耐

第八十三講 地球の忍耐

第八十四講 地球の忍耐

第八十五講 地球の忍耐

第八十六講 地球の忍耐

第八十七講 地球の忍耐

第八十八講 地球の忍耐

第八十九講 地球の忍耐

第九十講 地球の忍耐

第九十一講 地球の忍耐

第九十二講 地球の忍耐

第九十三講 地球の忍耐

第九十四講 地球の忍耐

第九十五講 地球の忍耐

第九十六講 地球の忍耐

第九十七講 地球の忍耐

第九十八講 地球の忍耐

第九十九講 地球の忍耐

第一百講 地球の忍耐

毎週一時

第二編 世界地理学

第一講 世界の概観

第二講 世界の気候

第三講 世界の地形

第四講 世界の地質

第五講 世界の生物

第六講 世界の人口

第七講 世界の交通

第八講 世界の歴史

第九講 世界の未来

第十講 世界の文化

第十一講 世界の宗教

第十二講 世界の政治

第十三講 世界の経済

第十四講 世界の社会

第十五講 世界の教育

第十六講 世界の科学

第十七講 世界の芸術

第十八講 世界の文学

第十九講 世界の音楽

第二十講 世界の美術

第二十一講 世界の演劇

第二十二講 世界の映画

第二十三講 世界のテレビ

第二十四講 世界のラジオ

第二十五講 世界のインターネット

第二十六講 世界の携帯電話

第二十七講 世界のパソコン

第二十八講 世界のスマートフォン

第二十九講 世界のタブレット

第三十講 世界のクラウド

第三十一講 世界のビッグデータ

第三十二講 世界の人工知能

第三十三講 世界のロボット

第三十四講 世界の宇宙

第三十五講 世界の環境

第三十六講 世界のエネルギー

第三十七講 世界の資源

第三十八講 世界の持続可能な開発

第三十九講 世界のSDGs

第四十講 世界の未来の展望

第四十一講 世界の希望

第四十二講 世界の夢

第四十三講 世界の理想

第四十四講 世界の信念

第四十五講 世界の意志

第四十六講 世界の力量

第四十七講 世界の智慧

第四十八講 世界の愛

第四十九講 世界の平和

第五十講 世界の繁栄

第五十一講 世界の幸福

第五十二講 世界の健康

第五十三講 世界の長寿

第五十四講 世界の富強

第五十五講 世界の民主

第五十六講 世界の法治

第五十七講 世界の公正

第五十八講 世界の平等

第五十九講 世界の自由

第六十講 世界の正義

第六十一講 世界の誠実

第六十二講 世界の勇敢

第六十三講 世界の忍耐

第六十四講 世界の謙遜

第六十五講 世界の忍耐

第六十六講 世界の忍耐

第六十七講 世界の忍耐

第六十八講 世界の忍耐

第六十九講 世界の忍耐

第七十講 世界の忍耐

第七十一講 世界の忍耐

第七十二講 世界の忍耐

第七十三講 世界の忍耐

第七十四講 世界の忍耐

第七十五講 世界の忍耐

第七十六講 世界の忍耐

第七十七講 世界の忍耐

第七十八講 世界の忍耐

第七十九講 世界の忍耐

第八十講 世界の忍耐

第八十一講 世界の忍耐

第八十二講 世界の忍耐

第八十三講 世界の忍耐

第八十四講 世界の忍耐

第八十五講 世界の忍耐

第八十六講 世界の忍耐

第八十七講 世界の忍耐

第八十八講 世界の忍耐

第八十九講 世界の忍耐

第九十講 世界の忍耐

第九十一講 世界の忍耐

第九十二講 世界の忍耐

第九十三講 世界の忍耐

第九十四講 世界の忍耐

第九十五講 世界の忍耐

第九十六講 世界の忍耐

第九十七講 世界の忍耐

第九十八講 世界の忍耐

第九十九講 世界の忍耐

第一百講 世界の忍耐

結論

世界ニ於ケル人種言語宗教貿易交通 列強國勢ノ比較

第四學年

毎週一時

地文

總說

太陽系 地球ノ形及大サ 地球ノ運動、晝夜、四季、日蝕及月蝕、標準時

陸

沿岸線

地勢及構造

山嶽、原野、巖谷等 泉、河、湖 岩石、礦物、地層

變動

火山、噴泉、地震 大陸及山脈ノ形成 沿岸線ノ形成 大氣、水及生物ノ作用

大氣

溫度、氣壓、風、濕氣、氣候及天氣

海

海水ノ色、鹽分等 海底 海水ノ溫度、波、海流、潮汐

生物

分布

教授上ノ注意

- 一 地理ヲ授クルニハ生徒既知ノ事實ヨリ之ニ關係アル未知ノ事實ニ及ボサシコトヲ旨トシ必レモ此ノ要目ノ順序ニ依ルコトヲ要セス
- 二 地理ヲ授クルニハ成ルヘク事實ノ比較適合ヲ力メ特ニ外國地理ニ於テハ我國ノ狀勢ヲ以テ比

較ノ基礎トナスヘシ

- 三 地理ヲ授クルニハ先ツ地平線、方位、地球、經緯線、經緯度、大洋、大洲、島嶼ニ就キ小學校ニ於テ授ケタル事項ヲ復習スルヲ要ス
- 四 日本地理及外國地理ヲ授クルニハ常ニ地文ニ關スル事項及實業ニ關スル事項ニ留意シ漫ニ細密繁多ナル事實數量ヲ記憶セシムルコトハ之ヲ避ケヘシ
- 五 外國地理ニ於テハ我國ト關係多キ地方ニ留意シ此ノ要目ノ中特ニ重要ナル部分ハ更ニ之ヲ細分シテ授クルコトヲ得
- 六 歷史上著名ナル場所及學校所在地方ノ地理ハ稍ニ詳ニ之ヲ授クルヲ可トス
- 七 有名ナル詩歌、文章、紀行等ニシテ地理教授ニ資スヘキモノハ便宜之ヲ引用シテ興味ヲ助ケヘシ
- 八 實地ニ觀察シ得ヘキ事項ハ成ルヘク直接ニ觀察セシム共ノ他ハ常ニ地圖、標本、寫真、繪畫表等ニ依リ生徒ノ知識ヲ確實ナラシムヘシ又適當ノ機會ニ於テ地圖ノ讀ミ方、描キ方ニ關スル簡單ナル解説ヲ與フヘシ
- 九 地文ハ特ニ我國ニ關スル事項ニ留意シテ之ヲ授クヘシ
- 十 地名ノ稱呼ハ必レモ此ノ要目ノ示ス所ニ依ルコトヲ要セス
- 十一 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ

- 日本及世界地形圖 世界分圖 日本行政區劃圖 日本及世界交通地圖 人種分布地圖 日本及世界水陸動物分布圖 日本及世界植物區系圖 日本地質圖 日本及世界同溫線圖 日本及世界同壓線圖 日本及世界風向圖 日本及世界雨量圖 日本及世界海流圖 同時潮圖 地震及火山

分布圖 日本地圖 天氣圖ノ一例 其ノ他人文地文ヲ説明スル地圖
階梯計ヲ示ス圖又ハ表 風俗 風景其ノ他地文上ノ現象ヲ示ス圖畫又ハ寫眞 土地ノ高低 褶曲 斷層等ヲ示ス模型又ハ圖畫 主要ナル岩石 主要ナル造岩礦物 化石 日本ノ主要ナル産林産木産物及加工品ノ標本 主要ナル貿易品ノ標本 其ノ他ノ模型圖畫掛圖等
地現儀 羅針盤 測斜器 晴雨計 寒暖計 日時計
人文地理ニ關スル事項ハ時々異動ヲ來スコト多ケレハ之カ圖表等ハ常ニ其ノ訂正増補ニ留意シ最近ノ形勢ヲ示スモノヲラシムヘシ

數學 第一學年

每週二時

算術
整數及小數
命數法及肥數法 四則 心算練習
諸等數
時間 尺貫法度量衡、ゆゑとる法度量衡本邦貨幣外國度量衡及貨幣ノ主要ナルモノ 諸等算法及命法 諸等數ノ四則
分數
簡易ナル化法及運算
比及比例
比 單比例

第二學年

每週二時

算術ノ續キ
前學年中授ケタル事項ノ復習
整數
2.5.4.9.3ニ依ル整數ノ可約性 乘數 整數ヲ素因數ニ分ツコト 最大公約數及最小公倍數ヲ求ムル應用
分數
約分 通分 分數四則 分數ノ特別場合トシテノ小數 分數ヲ小數ニ化スルコト
比及比例
複比例 連鎖法
割合
歩合算 利息算
第三學年
算術ノ續キ
前二學年中授ケタル事項ノ復習
比及比例
比例配分 混合法
割合
割合算其ノ他割合ニ關スル日用諸算

每週二時

開平

第四學年

每週二時

算術ノ續キ

前三學年中授ケタル事項特ニ理由ノ復習

代數ノ初歩及平面幾何ノ初歩ヲ加フルトキハ次ノ例ニ依リテ之ヲ授クヘシ

代數 記號的運算ノ大要 一次方程式 負數

幾何 定規及こんばすノ用法 主要ナル幾何形體ノ種類及構造

角、平行線、三角形、四邊形、圓、正多角形ノ性質、附作圖題 面積ノ比較及計リ方

教授上ノ注意

一 數學ヲ授クルニハ常ニ正確ナル音解ヲ用ヒテ理由方法等ヲ説明セシメ、理會ヲ明瞭ナラシメンコトヲ力ムヘシ

二 例題ハ成ルヘク生業上適切ニシテ、事實上ニ資スヘキモノヲ選ビ、歩合算其ノ他、割合ニ關スル日用諸算ノ例題ヲ課スルニハ、特ニ注意シテ、其ノ事項ヲ説明スヘシ

三 算術ニ於テハ、單ニ算法ヲ授クルニ止メ、常ニ實算ヲ重シテ、正確迅速ニ計算シ得ルニ至ラシムヘシ

四 計算ニハ成ルヘク驗シテ行ハシメ、之ニ對スル自信ヲ深厚ナラシムヘシ

五 算術ヲ授クル際、法則ノ理由ヲ十分ニ理會セシメ、難キ場合ニ於テハ、單ニ其ノ法則ヲ授クルニ止

ムヘシ

六 代數ヲ授クルニハ、複雜ナル記號的運算ヲ避ケ、成ルヘク算術トノ連絡ヲ圖リテ、實用ニ資セシメンコトヲ力ムヘシ

七 幾何ハ、成ルヘク實驗觀察ノ方法ニ依リテ之ヲ授ケ、必シモ嚴格ナル論理ニ拘ルコトヲ要セス

八 教授用備品ハ、凡次ノ例ニ依ルヘシ
日時計 時計 羅針盤 尺 鯨尺 ムーミ尺 三種比較尺(尺、鯨尺、ムーミ尺) 日本秤 ムーミ尺 分銅 臺秤 液量器 數量器 ムーミ尺 法量器 外國度量器 黑板用こんばす

黑板用各種ノ定規 卷尺
日本貨幣圖 外國貨幣圖 幾何形體ノ模型

理科 第一學年及第二學年

每週二時

植物

緒論

形態

植物體ノ主要ナル器官 其ノ種々ナル變形

解剖

植物體ノ根本的構造ノ大要

生理

營養、吸收、呼吸、通氣、同化、生長運動、刺激感應、生殖等ノ大要 動植物生理ノ異同

生態

蟲媒花、風媒花 寄生植物、肉食植物 果實種子ノ散布 植物ト外圍 落葉木常綠木等
分類應用、分布

植物ノ分類 被子植物及裸子植物中ノ主要ナル科ノ大要 羊齒植物、蕨苔植物、菌藻植物ノ大
要 主要ナル有用植物、有害植物 植物分布ノ大要

前記ノ事項ハ必シモ順序ヲ追ヒテ授クルコトヲ要セス適宜分合シテ之ヲ授クルコトヲ得時ニ季
節ニ應シテ適當ナル題目(例ハ春季ニ發芽、開花、秋季ニ果實、紅葉、落葉等ヲ選ビ之ニ就キ
テ便宜形態解剖、生理、生態分類、應用、分布ノ諸項若ハ其ノ中ノ數項ヲ歸納的ニ授クルカ如キハ
生徒ノ興味ヲ増シ理解ヲ助クル益アルヘシ

動物

緒論

分類

動物ノ分類 脊椎動物(哺乳類、鳥類、爬蟲類、兩棲類、魚類) 節足動物(多足類、蜘蛛類、昆蟲類、甲
殼類) 軟體動物(瓣鳃類、腹足類、頭足類) 蠕形動物 棘皮動物 腔腸動物 海綿動物 原生動
物

分類ヲ授クルニハ顯著ナル適例ヲ示シテ綱或ハ主要ナル目ヲ説明スルニ止メ分類區分ノ名稱
特徵等ヲ細密ニ授クルコトヲ主トシテ動物ノ概念ヲ與フルコトヲカムヘシ又必スレモ前記
ノ順序ニ依ルコトヲ要セス

習性

生徒ノ容易ニ實驗シ又ハ目撃シ得ヘキモノ、自然界ノ現象トシテ趣味アルモノ、人類ニ關係アル
モノ

解剖、組織

脊椎動物ロリ下等動物ニ至ルニ從ヒ其ノ構造漸次簡單ニナルコト 動物體ハ細胞ヨリ成ルコ
ト

發生

自然發生(キョクト) 生殖 卵及其ノ發生ノ大要 昆蟲特ニ蠶ノ變態

生態

寄生、共生 保護色、其ノ他ノ彩色等

分布、變遷

散布、分布、變遷ノ大要

應用

寄生蟲及病媒介動物ニ對スル注意 農林業上ノ有益動物、有害動物 家畜、人爲淘汰 主要
ナル水産物、肥料、食料、衣料、藥品等

前記ノ事項ハ必シモ順序ヲ追ヒテ授クルコトヲ要セス或ハ分類ヲ主トシ各類ニ就キテ之ヲ授ク
ルトモ或ハ其ノ一部ハ分類ト同時ニ之ヲ授ケ其ノ他ノ一部ハ別ニ之ヲ授クルトモ妨ナシ

生理及衛生

緒論

消化

循環	口腔、食道、胃、腸、肝、脾、消化作用、消化器ノ保護、食物ノ種類及配合、飲料
呼吸	血液、心臟、動脈、靜脈、血液循環、淋巴管、淋巴腺、脾臟
排泄	鼻、喉、頭、肺、呼吸作用、呼吸器ノ保護、空氣、音聲及言語
新陳代謝體溫	腎臟、尿管、皮膚及其ノ作用、皮膚ノ保護、冷水浴
運動	骨格、筋肉、姿勢、運動、運動ノ新陳代謝ノ關係
神經作用	腦、脊、神經及其ノ作用、休息、睡眠
視、聽、嗅、味、官、眼、耳ノ保護	
第三學年	每週二時
第四學年	每週一時
化學及礦物	
緒論	
空氣、水	

空氣、酸素、窒素、酸化、水、水素、溶解、飽和、結晶、天然水、硬水、軟水、水ノ蒸溜、あむもに
あ、化學變化、化合及分解、化合物、單體、元素
木炭、食鹽
木炭、獸炭、油煙、炭素、燃燒、發火點、焰、呼吸、動植物ト空氣、食鹽、鹽化水素、鹽素、漂白粉、無水炭酸、酸化炭素、質量ノ不變、定比例ノ定律
硫黃、硝石、磷、硼砂
硫黃、無水亞硫酸、硫化水素、硫酸、其ノ鹽、硝石、硝酸及其ノ鹽、火藥、磷、磷酸、磷寸、同素體、硼砂、硼酸
金屬、普通ナル、鐵物
むとりう、む及かりう、む、其ノ水酸化物、炭酸鹽、かるう、む、其ノ酸化物、水酸化物、炭酸鹽
花崗岩、石英、長石、雲母、磁器、陶器、硝子、漆、喰、せゆんと、石灰石、石膏、燐、石灰、螢石、弗化水素
亞鉛、錫、鉛、まぐね、う、む、あるみ、にう、む、鐵、につける、銅、銀、水銀、黃金、白金、主要ナル、原礦及
金屬化合物、合金、冶金術
金剛石、石墨、石炭、石油、琥珀、黃玉、柘榴石、鋼玉、安山岩、黑曜石等、砂岩、粘板岩等、鐵物ト岩
石
有機化合物
有機化合物ト無機化合物、沼氣、あせられん、石油ノ蒸溜、酒精、えーてる、ぐりせりん、酢酸、其
ノ他、脂肪酸、脂肪、油、木蠟、石鹼、蠟燭、砂糖、澱粉、せるろーす

石炭ノ乾溜 石炭瓦斯こゝるたゝる、あはりん染料、石炭酸、セふたれん 没食子酸、たんじん
樹順ど心、あるかろいど、蛋白質、醱酵、腐敗、防癘及消毒

物理

緒論

運動力

運動 慣性力 作用及反動 力ノ釣合 重力 落體、拋射體 重心、物體ノ座リ 槌子、天
秤、輪軸、滑車等 振子、時計 宇宙引力

物性

物質、其ノ三態 彈性 毛細管現象 液體ノ壓力 水平面 水準器 重力ニ依リテ生スル壓
力 浮遊體 比重 大氣ノ壓力、晴雨計 風船、空氣ばんぶ、水ばんぶ、さいふばん、霧吹き等

音

發音體 振動、波動 音ノ波及、速度 反射 強ク、弱ク、音色 發音器、管、絃等

熱

寒暖計、溫度 物體ノ膨脹 熱容量、比熱 蒸氣機關 融解、凝固 融解熱、凝固熱 蒸發、沸騰
氣化熱 濕度、濕度計 傳導、對流、輻射

光

光體 光ノ直進、速度 反射 本面鏡、球面鏡、其ノ像、焦點 屈折 ぶりすむ、れんす、其ノ像、焦
點 暗箱、眼鏡、顯微鏡、望遠鏡、幻燈等 光ノ分散、すべくさる 物體ノ色、光澤

磁石

磁石、其ノ兩種 兩種間ノ作用 磁氣ノ感應 羅針盤、地磁氣 磁石ノ作り方

電氣

摩擦ニ依ル發電 磁體、不導體 二種ノ電氣、驗電器、電氣ノ分配 尖端ノ作用 電氣ノ感應
起電機、れいでん瓶、雷電、避雷針 電池、電流 電流計 電磁石、電鈴、電信機、電氣燈、電話機
電解、電鍍、電鍍術等

教授上ノ注意

- 一 理科ハ分科シテ之ヲ授クト雖共ノ教授ハ成ルヘク一人ノ教員之ヲ擔任シ常ニ分科相互ノ連絡
ニ留意シ生徒ヲシテ自然界ノ統一ニ就キテ明晰ナル概念ヲ得シメントコトヲ力ムヘシ
- 二 各分科ノ結論ニ於テハ成ルヘク前分科ノ教材ニ因ミテ準備事項ヲ授ケ分科ノ連絡ヲ圖リ以テ
理科全體ノ統一ニ資スヘシ
- 三 教材ノ選擇排列ハ地方ノ情況ニ鑑ミテ之ヲ斟酌スヘシ
- 四 理科ヲ授クルニハ成ルヘク實物實驗ニ徹シテ觀察敘述判斷ヲ練習セシムルト共ニ常ニ家事上
ノ應用ニ留意セシメ又時々野外教授ヲ行ヒ以テ自然界ヲ愛スル念ヲ起サシムヘシ
- 五 實驗ハ豫メ之ヲ試ミ置キテ教授ノ際故障ナカランコトヲ期スヘシ
- 六 植物動物ハ科學上ノ順序ニ泥ムコトナク生徒日常ノ經驗ニ訴ヘ成ルヘク實物標本ニ因ミテ之
ヲ授クヘシ
- 七 生理及衛生ハ衛生ヲ主眼トシ日常適切ナル事項ヲ授ケテ家事トノ連絡ヲ圖リ生理ハ衛生ヲ理
會シ得ルニ止マヘシ
- 八 化學物理ハ生徒既知ノ事實ニ關聯シテ之ヲ授ケテ特ニ危險等ニ於ケル應用ニ留意セシメ定律ノ

如キハ成ルヘク實例ニ依リテ其ノ應用ヲ示シ徒ニ高遠ナル説明ニ馳セサランコトヲ要ス
九 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ
植物ニ關スルモノ

採集筒籠 壓搾板 壓搾紙 生理試驗用具 主要ナル植物ノ乾燥標本及生標本材鑑年輪其ノ他
幹ノ構造ヲ示ス標本 主要ナル組織ノふればらひと 主要ナル微細植物ノふればらひと 主要
ナル乾燥果實及種子ノ標本 主要ナル肉質果實ノあるコトニ關スル標本又ハふらむりノ標本 顯著
ナル花果實等ノ模型又ハ圖畫標本ヲ原料トシタル加工品
成ルヘク花壇ヲ設ケ主要ナル植物ヲ栽培シテ教授ノ用ニ供スヘシ

動物ニ關スルモノ

捕蟲網 採集箱 展翅板 毒盤 ちっばー 注射器 解剖用鋸 骨鈹 昆蟲飼育箱 哺乳類鳥
類爬蟲類魚類等ヲ代表スル動物及其ノ骨格 解剖生長變態等ヲ示ス標本模型又ハ掛圖 保護
色寄生共生等ヲ示ス標本模型又ハ掛圖 主要ナル益蟲害蟲ノ標本 動物ヲ原料トシタル加工
品 微細動物ノふればらひと等
生理及衛生ニ關スルモノ

人體ノ紙製模型 人體骨格 眼ノ模型 耳ノ模型 主要ナル組織ノふればらひと 病菌ノふれ
ばらひと 人體ノ解剖掛圖等
化學及礦物ニ關スルモノ

酒精噴燈又ハ瓦斯燈 硝子鏡筒時計皿 硝子瓶 二口瓶 三口瓶 刻度圓筒量液瓶 U字管 塔
狀乾燥器 乾燥放冷器 びんごととびりれごと及其ノ蓋 れごとと其ノ蓋 びんごと 漏斗及其ノ

盛 冷却器 其ノ蓋 漏斗管 安全管 ゆーぢあめーとる 活栓附硝子管 燃燒管 磁製坩堝
鉛皿 硬度計 鐵錘吹管 白金線 白金板 硝子切 三角鏡筒 燃燒匙 坩堝坩堝 三脚架 水樽
瓦斯溜 木製及金屬製架臺 砂皿 水浴 空氣浴 披止披子 濾紙 瓦匙等 主要ナル礦物及
岩石 礦物岩石ヲ原料トシタル加工品
藥品ハ之ヲ示サスト雖此ノ要目ニ關スル主要ナルモノハ必ス之ヲ備フヘシ

物理ニ關スルモノ

木製金屬製等ノ球 磁子 輪軸 滑車 斜面 螺絲 重心ヲ示ス種々ノ板 座リヲ説明スル種々ノ立
體 天秤 日本秤 尺 ゆーとる法尺 日本秤 五〇CC及五〇〇CCノ硝子製量器 鉛製分銅
筒(五〇瓦 一〇〇瓦 一きろ瓦等各數筒) 取附萬力 手輪 毛細管數種 木工道具 金工道具
ばすかるノ原理ヲ示ス器 ぶらさ水壓器 連通水平器 水準器 上履ヲ示ス器 あるきめで
ノ原理ヲ示ス器 浮沈子 浮秤 きぐでふる半球 晴雨計用硝子管 晴雨計 空氣ばんぶ及附
屬品 水ばんぶ 波動ヲ示ス裝置 音叉數種 ものこーと 風琴管 音ノ波及ヲ示ス器 さび
いる齒輪 蓄音器 摩擦ニ依ル發熱ヲ示ス具餘管 熱ノ傳導比較器 比熱試驗用金屬球數種
金屬ノ膨脹ヲ示ス器 乾濕球寒暖計 蒸氣機關模型 光線ノ反射ヲ示ス器 平面鏡 凹凸球面
鏡 光線ノ屈折ヲ示ス器 ぶりすむれんす數種 顯微鏡 望遠鏡ノ理ヲ示ス裝置 色ノ混合ヲ
示ス器 へりすすたつと 磁鐵鐵 棒磁石 馬蹄磁石 羅針盤磁針 鐵粉 鐵棒 硝子棒 封蠟
棒 猫皮 毛布片 絹布片等 電氣振子 絕緣臺 電氣分配ヲ示ス空球 ふららでーと 金箔電器
電氣感應ヲ示ス器 絕緣レタメル導體 電氣盆 ういむーやーすと起電機 れいでん瓶數箇 放
電叉 ぶんせんだにえる等ノ電池各數箇 電流計 電磁石 もーるす電信機模型 電鈴 白

如キハ成ルヘク實例ニ依リテ其ノ應用ヲ示シ徒ニ高遠ナル説明ニ馳セザランコトヲ要ス
九 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘン
植物ニ關スルモノ

採集筒蓋 壓搾板 壓搾紙 生理試驗用具 主要ナル植物ノ乾燥標本及生標本材鑑年輪其ノ他
幹ノ構造ヲ示ス標本 主要ナル組織ノふればらりと 主要ナル微細植物ノふればらりと 主要
ナル乾燥果實及種子ノ標本 主要ナル肉質果實ノあるコト標本又ハふあるまりん標本 顯著
ナル花果實等ノ模型又ハ圖畫植物ヲ原料トシタル加工品
成ルヘク花壇ヲ設ケ主要ナル植物ヲ栽培シテ教授ノ用ニ供スヘン
動物ニ關スルモノ

捕蟲網 採集箱 展翅板 毒蓋 ちぢばー 注射器 解剖用鋸 骨鈹 昆蟲飼育箱 哺乳類鳥
類 爬蟲類 魚類等ヲ代表スル動物及其ノ骨格 解剖生長 變態等ヲ示ス標本模型又ハ掛圖 保護
色 寄生 共生等ヲ示ス標本模型又ハ掛圖 主要ナル益蟲害蟲ノ標本 動物ヲ原料トシタル加工
品 微細動物ノふればらりと等
生理及衛生ニ關スルモノ

人體ノ紙製模型 人體骨格 眼ノ模型 耳ノ模型 主要ナル組織ノふればらりと 病菌ノふれ
ばらりと 人體ノ解剖掛圖等
化學及礦物ニ關スルモノ

酒精噴燈又ハ瓦斯燈 硝子鏡圓筒時針皿 硝子瓶 二口瓶 三口瓶 割度圓筒 量液瓶 U字管 塔
狀乾燥器 乾燥放冷器 びべとと びりれつと及其ノ器 れととと其ノ器 びーかー 漏斗及其ノ

器 冷却器 其ノ器 漏斗管 安全管 ゆーぢあめーとと 活栓附硝子管 燃燈管 磁製坩堝
鉛皿 硬度計 鐵錘 吹管 白金線 白金板 硝子切 三角鏡 圓鏡 燃燈匙 坩堝披 三脚燈 水槽
瓦斯溜 木製及金屬製菜盤 砂皿 水浴 空氣浴 狹止披子 濾紙 瓦匙等 主要ナル礦物及
岩石 礦物岩石ヲ原料トシタル加工品
藥品ハ之ヲ示サント雖此ノ要目ニ關スル主要ナルモノハ必ス之ヲ備フヘン

物理ニ關スルモノ

木製金屬製等ノ球 錘子 輪軸 滑車 斜面 螺絲 重心ヲ示ス種々ノ板 應リヲ説明スル種々ノ立
體 天秤 日本秤 尺 ゆーととと法尺 日本秤 五〇〇及五〇〇〇ノ硝子製量器 鉛製分銅散
筒(五〇瓦 一〇〇瓦 一きろ瓦等各散筒) 取附萬力 手輪 毛細管散種 木工道具 金工道具
ばすかるノ原理ヲ示ス器 ぶらさ水壓器 連通水平器 水準器 上履ヲ示ス器 あるきめです
ノ原理ヲ示ス器 浮沈子 浮秤 まぐでぶるぐ半球 晴雨計用硝子管 晴雨計 空氣ばんぶ及附
屬品 水ばんぶ 波動ヲ示ス裝置 音ノ數種 ものこーと 風琴管 音ノ波及ヲ示ス器 さび
ふる齒輪 音響器 摩擦ニ依ル發熱ヲ示ス具餘管 熱ノ傳導比較器 比較試驗用金屬球散種
金屬ノ膨脹ヲ示ス器 乾燥球發熱計 蒸氣機關模型 光線ノ反射ヲ示ス器 平面鏡 凹凸球面
鏡 光線ノ屈折ヲ示ス器 ぶりす心 れんす散種 顯微鏡 望遠鏡ノ理ヲ示ス裝置 色ノ混合ヲ
示ス器 へりあすたつと 磁鐵鏡 棒磁石 馬蹄磁石 羅針盤磁針 鐵粉 鐵棒 硝子棒 封臘
棒 猫皮 毛布片 絹布片等 電氣振子 絕緣器 電氣分配ヲ示ス空球 ぶらでー袋 金箔電器
電氣感應ヲ示ス器 絕緣レネル導體 電氣盆 ういひーやーすと起電機 れいでん瓶散筒放
電叉 ぶんせんだにえと等ノ電池各散筒 電流計 電磁石 もーるす電信機模型 電鈴 白

熱電燈 各種電機 電話機 電解器 感應こいる 真空管 はんどだいせも 絶縁銅線敷

共用ニ屬スルモノ

顯微鏡 顯微鏡 解剖用具 解剖針 解剖刀 解剖鉗 解剖皿 びんせつとせ等 寒暖計 暗箱 實體鏡 酒精燈 乳鉢 乳棒 蒸發皿 試驗管 其ノ屬 試驗管ふらつと 硝子瓶 ふらつと 硝子管 硝子 棒 硝子板 硝子へんこくへんこく 顯微鏡 硝子器 硝子管 金網針 金等

第一學年

每週一時

自在畫

寫生畫 臨畫

簡單ナル幾何形體 器具 植物ノ類

第二學年

每週一時

自在畫

寫生畫 臨畫

前學年ニ準レテ其ノ程度ヲ進メ動物ノ類ヲ加ヘ又生徒學力ノ進度ニ應レテ便宜彩色ヲ施スコトヲ授クヘシ

幾何畫

線角 圓形 常用曲線等ニ關スル描法

第三學年

每週一時

自在畫

寫生畫 臨畫

前學年ニ準レテ其ノ程度ヲ進メ彩色ヲ施スコトヲ授クヘシ

本學年ニ於テ便宜平面形及簡單ナル立體ニ關スル投影畫法 陰影畫法及透視畫法ノ大要ヲ説明

レ寫生畫ノ教授ニ資スヘシ

第四學年

每週一時

自在畫

寫生畫

前學年ニ準レテ其ノ程度ヲ進メ景色人物ニ及ボスヘシ

考案畫

自在畫及幾何畫ニ於テ習得セタル技能ヲ應用シテ圖案ヲ構成セシムヘシ

本學年ニ於テハ便宜彩色圖案其ノ他美術上ノ事項ニ關スル説明ヲナスコトアルヘシ

本要目ハ幾何畫ヲ授クル場合ニ就キテ示スト雖之ヲ授ケサルトキハ適宜斟酌ヲ加フヘシ

教授上ノ注意

- 一 臨本ハ正格ナル畫法ニ基キ奇癖ニ陥ル嫌ナキモノナルヘシ
- 二 臨畫ハ教授ノ際成ルヘク實物ヲ示レテ臨本ト對照シ生徒ヲシテ畫中形相ノ意義ヲ充分ニ理解セシメタル後其ノ布置描法ヲ授クヘシ
- 三 寫生畫ハ模型又ハ實物ニ就キテ行フモノニシテ之ヲ授クルニハ先ツ生徒ヲシテ物體ノ位置距離光線ノ關係ニ依リテ形相ニ變化アル所以ヲ明ニセシメタル後之ヲ正確ニ描寫スルコトヲ教

フヘン

四 寫生ハ物ノ形相ヲ正確ニ描寫スルヲ目的トス然レトモ又徒ニ物ノ細部ニノミ拘泥スルカ如キハ之ヲ避ケサルヘカラス

五 幾何畫ハ實際ノ應用ヲ主トシテ之ヲ授ケ自在畫トノ連絡ヲ圖ルヘン

六 考案畫ノ目ハ第四學年ニ之ヲ舉クト雖便宜他ノ學年ニ於テモ之ヲ課シ志匠ノ練習ヲナサシムヘン

七 臨畫及寫生畫ノ教授時間ニ於テ時々記憶畫ヲモ課シ形相觀察ノ練習ニ資セシムヘン

八 教材ハ地方ノ狀況ニ鑑ミテ斟酌スヘント雖成ルヘク應用ノ廣キモノ又ハ生徒ノ趣味ヲ養フニ足ルモノヲ選ビ共ノ高尚ニ過クルモノ或ハ鄙陋ニ沙ルモノハ之ヲ避ケヘン

九 生徒ヲシテ成ルヘク名畫共ノ他美術上ノ作品又ハ共ノ正確ナル複製物ヲ見シメ之ニ關シテ簡單ナル說明ヲナスヘン

十 生徒ヲシテ常ニ姿勢ヲ正シクセシメ又器具ノ整頓及保存ニ注意セシムヘン

十一 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘン

臨木 參考トナルヘキ美術作品又ハ共ノ複製物 幾何形體、裝飾紋樣 動物植物及人物ノ模型
寫生用實物 畫板、筆洗、繪具皿 圖引器械 墨板用こんばす及各種ノ定規 投影畫法及透視畫法ノ說明ニ用フル簡單ナル裝置

家事

第三學年

每週二時

家事ニ於ケル女子ノ職分 善良ナル家風ヲ作ルコト

衣食住

衣服 材料ノ選擇 調製保存洗濯

食物

成分、性質 常用食品米、麥、粟、飯、麵、麵類、穀、大豆、豆腐、味噌、醬油、小豆、菓子、果實、野菜、魚、鳥、卵、牛、豚、肉、乳、油、食鹽等 嗜好品 飲料水、淨水法、水ニ依ル病毒傳播 缺立 食器、庖厨具、割、煮、共ノ實習、食物、植物、動物、汁物、漬物、生物、貯藏

住居

選擇 土地、家屋 方向採光、暖房、換氣、室房ノ配置、裝飾 門、塙、庭園、井 掃除、保存 家具、什器

第四學年

每週二時

養老及育兒

養老 衣食住ノ注意 起居ノ介抱 精神ノ保養

育兒

哺乳、生齒、食物、衣服、居所、沐浴、運動、睡眠、疾病、言語動作、談話、遊戲、玩具、就學

香病傳染病ノ豫防

衣食住ノ注意 介抱 藥用 危篤ノ場合 救急療法
傳染病及其ノ豫防 清潔方法 消毒方法
整理及經濟

主婦ノ心得 勤儉節儉秩序豫見周密清潔 婢僕ノ遇ヒ方 扱ヒ方 仕事ノ配當給料
家産 收支豫算 必要ナル費用 元費 貯蓄 保險
家計簿記 出納ノ科目 記入ノ方法 帳簿ノ整理
教授上ノ注意

一 家事ヲ授ケルニハ理論ニ偏セス實際ニ適切ナラシメンコトヲ旨トシ他ノ學科目ニ於テ生徒ノ
學習シタル事項ハ成ルヘク之ヲ利用センコトヲ力ムヘシ
二 刺蒸ノ實習ハ第三學年ニ於テ凡十回之ヲ課スルヲ常例トスレトモ便宜第四學年ニ涉リ之ヲ課
スルモ妨ナシ

三 家計簿記ハ日用ニ適切ナル事例ニ依リテ練習セシムヘシ
四 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ

衛生試驗表類 衣服地質標本 衣服洗濯用器具及藥品 保存用藥品 刺蒸實習用器具 食品標
本 防腐劑 防臭劑 家屋圖 體溫器 灌腸器 吸入器 糊帶材料 救急函 消毒用器具及藥
品 哺乳器 牛乳煮沸器 其ノ他看護用器具
裁縫

運針 第一學年

每週四時

本裁男女單衣 部分縫裁チ方積リ方寸法標附ケ方縫ヒ方順序仕立方
本裁女袴 部分縫裏ノ裁チ方積リ方標附ケ方縫ヒ方順序仕立方
本裁女縮入 部分縫標附ケ方縮入レ方縫ヒ方順序仕立方
子供帯仕立方

縫ヒ方 綿布

第二學年

每週四時

運針 前學年ニ準ス
本裁男袴 部分縫裏ノ裁チ方縫ヒ方順序仕立方
本裁男縮入仕立方ノ解説
洗濯強リ物ノ仕方
腹合帯仕立方

片面物三ツ身裁チ方及中幅大幅物ニテ小裁中裁本裁ノ裁チ方積リ方ノ解説
小裁又ハ中裁縮入仕立方
本裁女縮入羽織 本裁男袴羽織 部分縫裁チ方積リ方寸法標附ケ方縫ヒ方順序仕立方
本裁男縮入羽織仕立方ノ解説

筒袖及袖無縮入羽織 裁チ方寸法標附ケ方縫ヒ方順序仕立方
縮ヒ方 絹布 毛布
服地 前學年ニ準ス

第三學年

每週四時

本裁男單羽織 部分縫裁チ方積リ方、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 西洋前掛 部分縫裁チ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 女袴 裁チ方積リ方、縫ヒ合セ方、腰取り方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方 小裁中裁女袴ノ
 裁チ方積リ方、寸法ノ解説
 小裁中裁羽織 裁チ方積リ方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序ノ解説
 小裁中裁木裁被布 裁チ方積リ方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、小裁縮入被布ノ仕立方、飾紐ノ
 結ヒ方
 片面物及中幅大幅物ニテ羽織被布ノ裁チ方ノ解説
 被布合羽 裁チ方積リ方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 みーんノ用法

第四學年

每週四時

一ヤツツぼん下 裁チ方積リ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 男袴 裁チ方積リ方、縫ヒ合セ方、腰取り方、腰立系掛ノ順序、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 小裁中裁男袴ノ裁チ方積リ方、寸法ノ解説
 足袋、子供履掛、股引ノ類 裁チ方積リ方、順序、仕立方
 丸帯仕立方 男帯仕立方ノ解説
 小袖仕立方
 夜具 裁チ方積リ方、寸法、縫ヒ方、標附ケ方、縫ヒ方、順序、縫形ニテノ仕立方

みーんノ用法
 手藝ヲ加フル爲ニ教授時數ヲ減スルトキハ前記ノ事項ヲ斟酌シテ之ヲ授クヘシ

教授上ノ注意

- 一 裁縫ヲ授クルニハ土地ノ情況ニ適應セントコトヲ旨トシ必シモ此ノ要目ノ順序ニ依ルコトヲ要セス
- 二 他ノ學科目特ニ數學ニ於テ生徒ノ學習シタル事項ハ成ルヘク裁縫教授ニ資セントコトヲ力ムヘシ
- 三 材料ノ品質ハ第一學年及第二學年ニ於テハ專ラ綿布類ヲ用ヒシムヘシ
- 四 模範トナルヘキ實物雛形等ヲ示シテ其ノ要點ヲ説キ生徒技能ノ發達ヲ助クヘシ
- 五 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ
 衣服名稱圖 裁チ方圖 標附ケ方圖 衣服又ハ其ノ雛形 衣服ノ部分又ハ雛形 服地標木、絲標木、鏡、其ノ臺、火熨斗、其ノ臺、裁板、裁庖刀、定規、霧吹、壓板、張板、鏡、鯨尺、鉸、綿延みしん等

音樂

第一學年

每週二時

普通樂譜法 長音階階名音符、賦符譜表、加線、小節縱線、すらし、たい、嬰變、本位記號、延聲記號、簡易ナル發想記號等

基本教練

呼吸練習 緩吸、緩呼、急吸、急呼、急吸、緩呼、急吸、急呼

第三學年

每週四時

本裁男單羽織 部分縫裁チ方積リ方、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 西洋前掛 部分縫裁チ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 女袴 裁チ方積リ方、縫ヒ合ヒ方、縫取リ方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方 小裁中裁女袴ノ
 裁チ方積リ方、寸法、解説
 小裁中裁羽織 裁チ方積リ方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、解説
 小裁中裁木裁被布 裁チ方積リ方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、小裁縮入被布ノ仕立方、附飾紐ノ
 結ヒ方
 片面物及中幅大幅物ニテ羽織被布ノ裁チ方ノ解説
 被布合羽 裁チ方積リ方、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 みーんノ用法

第四學年

每週四時

イヤツヤツぽん下 裁チ方積リ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 男袴 裁チ方積リ方、縫ヒ合ヒ方、縫取リ方、腰立系掛ノ順序、寸法、標附ケ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 小裁中裁男袴ノ裁チ方積リ方、寸法、解説
 足袋ノ供腹掛、股引ノ類 裁チ方、縫ヒ方、順序、仕立方
 丸帯仕立方 男帯仕立方ノ解説
 小袖仕立方
 夜具 裁チ方積リ方、寸法、縫ヒ方、分量、標附ケ方、縫ヒ方、順序、縫形ニテノ仕立方

みーんノ用法

手藝ヲ加フル爲ニ教授時、裁ヲ減スルトキハ前記ノ事項ヲ斟酌シテ之ヲ授クヘシ

教授上ノ注意

- 一 裁縫ヲ授クルニハ土地ノ情況ニ適應センコトヲ旨トシ、必シモ此ノ要目ノ順序ニ依ルコトヲ要セス
 - 二 他ノ學科目特ニ數學ニ於テ生徒ノ學習シタル事項ハ成ルヘク裁縫教授ニ資センコトヲ力ムヘシ
 - 三 材料ノ品質ハ第一學年及第二學年ニ於テハ專ラ綿布類ヲ用ヒシムヘシ
 - 四 模範トナルヘキ實物雛形等ヲ示レテ其ノ要點ヲ説キ生徒技能ノ發達ヲ助クヘシ
 - 五 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ
- 衣服名稱圖 裁チ方圖 標附ケ方圖 衣服又ハ其ノ雛形 衣服ノ部分又ハ雛形 服地標本、絲標本、鏡、共ノ臺、火熨斗、共ノ臺、裁板、裁布刀、定規、霧吹、熨板、張板、鏡、尺、鉸、綿延みしん等

音樂

第一學年

每週二時

普通樂譜法 長音階階名、音符、賦符、譜表、加線、小節、縱線、すらい、たい、嬰變、本位記號、延聲記號、簡易ナル發想記號等

基本教練

呼吸練習 緩吸、緩呼、急吸、急呼、急吸、急呼

聲音練習 發聲、母音、聲區ノ調和、長音階、三度音程、弱中強ノ唱ヒ方等

聲域ハ小字ノヨリ二點ハマテ、拍子ハ二拍子及四拍子、音符及點符ハ一拍以上ノモノヲ用フ

第二學年

每週二時

普通樂譜法 前學年ニ準シ又音名、音部記號、調子記號、拍子記號、短音階及普通ニ用ヒラル、樂譜略記法、速度標語等ヲ加フ

基本教練

呼吸練習

前學年ニ準ス但シ急吸緩呼ヲ主トシ呼吸ノ際一定ノ高度ニ於テ母音ヲ合唱セシメ

又歌ヲ呼ハレムルヨトアルヘシ

聲音練習

母音三和音、四度音程、五度音程、旋律的短音階、弱中強、レガ一と及了たつかとノ唱ヒ方等

聲域ハ小字ノヨリ二點ハマテ、拍子ハ既修ノモノ、外三拍子及六拍子ヲ併用シ音符及點符ハ

一拍以上ノモノヲ用フ

唱歌

前學年ニ準シテ程度稍進ミタル單音唱歌凡十五曲及簡易ナル二部輪唱凡五曲

第三學年

每週二時

基本教練

聲音練習

子音六度音程上行漸弱下行漸強、上行漸強、下行漸弱、三音變拍子及じーんこぼ、高

音部中音部ノ唱ヒ方等

聲域拍子等ハ前學年ニ同シ

聽音練習

簡易ナル音程ニ於ケル二個乃至七個音ノ連續

唱歌

前學年ニ準シテ程度稍進ミタル單音唱歌、二部及三部輪唱、二部合唱通シテ凡十五曲

普通樂譜法

前二學年中授ケタル事項ノ復習及補説

樂器

をるがん

ぶらーべたるノ練習、五指練習、長音階練習、すうえるノ練習、簡易ナル樂曲若干

びもの

五指練習、長音階練習、簡易ナル樂曲若干

第四學年

每週二時

基本教練

聲音練習 子音七度音程、八度音程、普通聲域、高音部中音部ノ唱ヒ方等

聲域拍子等ハ前學年ニ同シ

聽音練習

簡易ニテ趣味ナル旋律的中節及大節

唱歌

前學年ニ準シテ程度稍進ミタル單音唱歌、四部輪唱、二部及三部合唱通シテ凡十二曲

普通樂譜法

前學年ニ準シテ又和聲ノ階梯ヲ加フ

樂器

をるがん又ハびもの、短音階練習及樂曲若干

本要目ハ輪唱、複音唱歌、樂器使用法ヲ授ケル場合ニ就キ示スト雖之ヲ授ケサルトキハ適宜漸階ヲ加フヘシ

教授上ノ注意

一 聲音練習ノ練習並ニ唱歌樂器ノ教授ハ初ヨリ樂譜ニ依ルヘシ

二 普通樂譜法ニ於ケル樂理及樂譜材料ハ實際ノ必要ヲ斟酌シ成ルヘク順序ヲ正シ區域ヲ小分シテ漸次之ヲ授クヘシ

三 基本教練ハ各學年ヲ通シテ之ヲ課シ成ルヘク樂譜法並ニ唱歌ニ關聯セシメントコトヲ要ス

四 呼吸及聲音ノ練習ハ唱歌教授時間ノ初ニ於テ聽音練習ハ同時内聲音ヲ休養スル時ニ於テスヘシ

五 歌曲ハ歌詞、歌想樂式、樂趣共ニ能ク生徒ノ思想、感情、年齡等ニ適應シテ其ノ品位ヲ高雅ナラシメ又諸學科目ノ統一ニ資スヘキモノニ就キ之ヲ選ブヘシ

六 唱歌及樂器ニ於ケル歌曲ハ其ノ數ノ多キヲ求メシテ十分之ニ熟達セシメントコトヲ要ス

七 生徒ヲテ唱歌セシムル際常ニ姿勢ニ注意セシメ又成ルヘク教員及樂器ニ依順スルコトナカランシムヘシ

八 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ
あるがん又ハびの ばいぶりん 調音又、めとろのーむ 掛圖其ノ臺 譜表ヲ記入シタル黑板、譜表臺等

體操
第一學年及第二學年
每週三時

普通體操
準備法、整容法、呼吸法、矯正術、徒手體操

遊戲

行進運動及遊技

第三學年及第四學年

每週三時

普通體操

矯正術

徒手體操

啞鈴體操

遊戲

行進運動及遊技

體操ハ凡普通體操ニ遊戲一ノ比ヲ以テ之ヲ課スヘシ

土地ノ狀況ニ依リ遊戲ニ於テ便宜游泳、氷滑リノ類ヲ加フルコトヲ得

教授上ノ注意

一 體操ハ成ルヘク女教員ヲシテ之ヲ教授セシムヘシ

二 體操ヲ授クルニハ先ツ其ノ運動ノ目的、筋肉ノ使用部等ヲ説明シ然ル後正格ニ其ノ模範ヲ示シテ之ニ倣ハシムヘシ

三 一運動ヲ始メテ授クル場合ニハ精密ニ注意シテ些少ノ誤謬タリトモ寬假スルコトナク之ヲ矯正スヘシ

四 體操ニ於テハ生徒ノ體力ニ留意シ過度ノ運動ヲナサシムヘカラス虛弱ナル生徒ニハ特ニ留意シテ初ヨリ強キ運動ヲナサシムス漸次之ニ堪フルニ至ラシムヘシ

生徒身體ノ定期的異狀アルニ際シテハ體操ヲ休止セシムヘシ

- 五 筋ニ授ケタル運動ハ反復練習シテ之ニ熟達セシムヘシ然レトモ長時間連續シテ同一ノ運動ノミヲナサシムヘカラヌ
- 六 教授ノ回数ハ每週凡六回トシ成ルヘク同一教授時間ニ於テ普通體操及遊戲ヲ併セ課スヘシ
- 七 體操ニ於テハ衣服特ニ帶袴ノ仕立方著方ニ留意シ四肢ノ運動ハ勿論呼吸及血液循環ヲシテ自在ナラシメンコトヲ期スヘシ
- 八 塵埃多キ場所又ハ夏日日光ノ直射スル場所ニ於テ運動セシムルコトハ之ヲ避ケヘシ
- 九 教授時間外ニ於テモ常ニ生徒ヲシテ其ノ姿勢ニ留意セシムルハ勿論又適宜各種ノ遊戲運動ヲ勸奨スヘシ
- 十 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ

教育

每週二時

緒論

心ノ状態

心ノ觀察法 意識 注意 感覺 知覺 觀念 記憶 想像 概念 言語ノ發達 斷定 推理 感應 情緒 情緒操
衝動 本能 欲望 意志 知的及徳的陶冶 心身ノ關係 男兒及女兒ノ個性

教育

家庭教育 兒童身體ノ看護 遊戲及手技 說話 命令 賞罰
幼稚園保育共ノ方法
學校教育 教授 訓練 家庭教育ト學校教育 家庭教育ト國家

教授上ノ注意

- 一 教育ハ生徒既知ノ事實ニ關聯シテ之ヲ授ケ家庭教育上ニ適切ナラシメンコトハ勿論生徒ノ修養上ニ應用セシメンコトヲ旨トシ健ニ高遠ナル理論ニ耽セサランコトヲ要ス
- 二 生徒ノ家庭ヲ愛スル念ヲ養ヒ家庭教育ノ重要ナル任務ナルコトヲ曉ラシムヘシ
- 三 心ノ状態ニ於テハ近易ナル實例ニ依リ乳兒期 幼兒期 兒童期等各時期ニ於ケル發達ノ大要ヲ就述シ共ニ保育ニ關スル注意ヲ與フヘシ

手藝

每週二時

第二學年以上
手藝ハ編物 組絲 藥物 刺繡 進花等ノ中ニ就キ一種又ハ數種ヲ授クヘシ共ノ事項凡次ノ如シ

編物

毛絲 絹絲 絹絲 麻絲等ヲ用ヒ手袋 足袋 帽子 襟巻 巾着 襦袢 裝飾等ニ就キテ種々ノ編ミ方ヲ授ケ又便宜ノ方法ニ依リ材料ノ性質 圖案 色ノ配合ヲ授クヘシ

組絲

絹絲 絹絲 毛絲 麻絲等ヲ用ヒ打紐 羽織紐 帶留 裝飾共ノ他裝飾品等ニ就キテ種々ノ組ミ方ヲ授ケ又便宜ノ方法ニ依リ材料ノ性質及色ノ配合ヲ授クヘシ

藥物

絹布 絹布 毛布 麻布 皮革 合羽紙等ヲ用ヒテ紙入 罌葷 入等ヲ作り方ヲ授ケ又便宜ノ方法ニ依リ材料ノ性質及圖案ヲ授クヘシ

刺繡

絹絲 絹絲等ヲ用ヒ襟 服紗 藥物地 服地 裝飾共ノ他裝飾品等ニ就キテ種々ノ繡ヒ方ヲ授ケ

造花

又便宜ノ方法ニ依リ材料ノ性質圖案色ノ配合、絲ノ染メ方ヲ授クヘシ

紙縮布、絹布、羽毛等ヲ用ヒ花簪、草木花卉ノ模造品、室内裝飾品等ニ就キテ其ノ作り方ヲ授ケ又便宜ノ方法ニ依リ花葉ノ構造、材料ノ性質及染メ方、圖案色ノ配合、用具ノ取扱方ヲ授クヘシ

其ノ他ノ技藝ニ關シテハ別ニ其ノ目ヲ舉ケスト雖土地ノ情況ニ應シテ便宜之ヲ定ムヘシ

教授上ノ注意

- 一 生徒ノ選擇スヘキ技藝ノ種類ハ成ルヘク多岐ニ互ラスシテ其ノ技藝ニ熟練セシメントコトヲ期スヘシ
 - 二 實習製品ハ成ルヘク用途アルモノヲ選ビ材料ヲ徒費セサランコトニ注意スヘシ
 - 三 染メ方ハ坊間ニ於テ得難キ色ヲ染メ出サシメントコトヲ主トシ簡易ナル方法ニ依リテ之ヲ授クヘシ
 - 四 圖案ヲ授クルニハ單ニ之ヲ説示スルコトニ止メス成ルヘク生徒ヲシテ之ヲ實習セシムヘシ
 - 五 教授用備品ハ凡次ノ例ニ依ルヘシ
材料標本 作り方ヲ示ス標本 色ノ配合ヲ示ス標本 圖案標本 作り方用器具等
刺繡造花ニ關シテハ凡次ノ備品ヲ加フヘシ
染料標本 材料ノ染メ方ヲ示ス標本 染メ方用器具 花葉ノ大模型 寫生用植物
- 文部省訓令第三號
文部省直轄各部
文部大臣 理學博士 野村胡堂 大藏
- 明治三十一年文部省訓令第九號中左ノ通改正ス
明治三十六年三月十四日

文部大臣 理學博士 野村胡堂 大藏

- 一 歳入徴收官ニ於テ納額告知書又ハ納額通知書發付ノ後科目所管廳ニ誤記アルヲ發見シ之レカ訂正ヲ爲ストキハ徴收簿ニ訂正ノ記入ヲ爲シ共ノ記入ヲ爲シタルトキ既ニ其ノ月ノ計算締切後ナルトキハ訂正ヲ爲シタル月ノ徴收報告書ニ事由ヲ附シテ之ヲ掲記スル事
 - 二 前項ノ歳入金ニシテ既ニ納額告知書又ハ納付書ニ依リ金庫ニ於テ現金領收ノ後ナルトキハ歳入徴收官ヨリ又收入官吏ニ於テ現金拂込書ノ科目所管廳ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ收入官吏ヨリ關係金庫ニ之カ訂正ヲ請求スル事
但シ科目ノ訂正ニシテ租稅ト租稅外收入トニ關聯セサルモノハ此限ニアラス
- 第三項削除
第四項中第三項ヲ第二項ニ第七項中「七月三十一日」ヲ「六月三十日」ニ改メ第七項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
八 經常部ト臨時部トノ誤記モ本令ニ準シテ訂正スル事
第八項ヲ第九項ニ改ム

○農商務省訓令第一號

明治三十六年度歳入歳出及森林資金歳入歳出科目ハ明治三十五年三月當省訓令第三號ノ科目表ヲ適用ス

山林局 大林區署

但シ明治三十五年八月訓令第十八號ヲ以テ追加ノ分ハ此限ニ在ラス

農商務大臣 野村平田東助

○農商務省訓令第二號

明治三十四年三月農商務省訓令第四號林區署旅費規則中左ノ通改正シ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

大林區署

明治三十六年三月三十日

農商務大臣 野村平田東助

第四條 國有林野存廢區別處分調査境界査定 測量 施業案編成 造林事業及其設備ノ爲大林區署員管内ニ出張シタルトキハ甲號表ノ日額ヲ支給ス小林区署員同上ノ用務ノ爲部外ニ出張シタルトキ亦同シ但シ監督又ハ視察ノ爲ニセル場合及在勤地ノ用務地間ノ往復並一日ノ行程陸路二里以上 汽車五里以上 水路五海里以上ニシテ甲乙用務地間ノ旅行ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條ニ在リ二項ヲ追加ス

部内ノ用務ニ依リ部外ヲ通過シ又ハ部外ニ宿泊シタルトキハ前項ニ準ス

在勤廳及官舎所在地ノ市町村内ヲ巡回シ遊距離ニシタルトキハ丁號表ノ車馬賃ヲ支給ス

第六條ノ一號及二號ヲ左ノ如ク改ム

一 訴訟ノ爲又ハ證人 參考人 鑑定人トシテ裁判所ニ出廷ノトキ

二 裁判所又ハ検事局ノ命令若ハ要求ニ依リ現場ニ出張ノトキ

丙號表ノ次ニ左表ヲ加フ

丁號表

一口ノ里程	車馬賃
三里以上	二十圓
五里以上	三十圓
八里以上	五十圓

○逓信省訓令第二號

北海道及府縣ニ屬スル航海補助費ノ仕辦 假拂 過渡金ノ取扱並ニ會計規則第五十二條ノ歲出計算書送付方ハ北海道廳長官府縣知事ニ委任ス

但仕拂手續ハ總テ電送取扱手續金ニ關スル諸規程ヲ適用スル

明治三十六年三月二十日 逓信大臣子爵芳川顯正

○内務省訓令第七號

東京市ニ於ケル巡查配置及勤務ニ關シテハ明治三十年訓令第十六號巡查配置及勤務概則ニ依ラス

内務大臣ノ認可ヲ經テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

明治三十六年四月二日 内務大臣男爵内海忠勝

○大藏省訓令第十五號

警視廳 北海道廳 府 縣 大藏省總務局 造幣局
印刷局 專賣局 稅關 稅務監督局 稅務署
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工事部

本年三月大藏省訓令第十一號明治三十六年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第一款租稅中ニ第四項舊稅追納第一目北海道水產稅第二目地租劃第三目戶數劃第四目雜種稅ノ項目ヲ追加ス

明治三十六年四月八日 大藏大臣男爵曾根龍助

○大藏省訓令第十六號

警視廳 北海道廳 府 縣 大藏省總務局 造幣局
印刷局 專賣局 稅關 稅務監督局 稅務署
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工事部

本年三月大藏省訓令第十一號明治三十六年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第二款印紙收入第一項印紙收入中ニ第三目骨牌印紙收入ノ目ヲ第四款雜收入第一項免許及手数料中ニ第一目免許料ノ目ヲ追加ス

明治三十六年四月九日 大藏大臣男爵曾根龍助

○大藏省訓令第十七號

警視廳 北海道廳 府 縣 大藏省總務局 造幣局
印刷局 專賣局 稅關 稅務監督局 稅務署
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工事部

明治三十六年四月 附令 大藏省第十八號 第十九號 陸軍省第四號

本年三 大藏省訓令第十一號明治三十六年度大藏省所管歲入科目表歲入臨時部第三款雜收入中二第
五項利子收入第一目公債利子收入ノ項目ヲ追加ス

明治三十六年四月十四日 大藏大臣男爵會禰荒助

○大藏省訓令第十八號
警視廳 北海道廳 府 縣 大藏省總務局 造幣局
印刷局 專賣局 稅關 稅務監督局 稅務署
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工事部

本年三 大藏省訓令第十一號明治三十六年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第一款租稅第十四項
舊稅追納中ニ第五目泥成酒稅ノ目ヲ追加ス

明治三十六年四月二十一日 大藏大臣男爵會禰荒助

○大藏省訓令第十九號
警視廳 北海道廳 府 縣 大藏省總務局 造幣局
印刷局 專賣局 稅關 稅務監督局 稅務署
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工事部

本年三 大藏省訓令第十一號明治三十六年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第四款雜收入第五項
雜入中ニ第十一目學校生徒授業料ノ目ヲ追加ス

明治三十六年四月二十二日 大藏大臣男爵會禰荒助

○陸軍省訓令丙第八號
明治三十六年度管省所管歲入歲出科目表中へ左記ノ通増設ス

臨時特設部 雜費	雜給及雜費	茶	
清國事件費	被服費	茶	
清國事件費		茶	北京將校集會所及 同宿舍火災修繕費

陸軍大臣寺內正毅
△印増設

○陸軍省訓令丙第九號
明治三十五年及三十六年度管省所管歲入歲出科目表中へ左記ノ通増設ス

明治三十五年四月九日 陸軍大臣寺內正毅

戰役殘務整理費	戰役殘務整理費	茶	
戰役殘務整理費	請手費	茶	

明治三十六年度歲入經常部

款	項	目	節
官物貸下料			

明治三十六年四月 附令 陸軍省丙第九號

雜收入	雜入	雜入	雜入
	貨幣交換差増		
	雜收		

○陸軍省附令第十一號
 明治三十六年度所管歳入歳出科目表中へ左記ノ通増設ス
 明治三十六年四月十五日

歳出經常部

旅費	旅費	旅費	旅費
旅費	外國旅費	旅費	旅費
旅行手當			

○陸軍省附令第十一號
 明治三十六年度所管歳入歳出科目表中へ左記ノ通増設ス
 明治三十六年四月二十七日

陸軍大臣寺内正毅
 △印増設
 陸軍一般

軍費	軍費	軍費	軍費
修繕費	修繕費	修繕費	修繕費
陸手當	陸手當	陸手當	陸手當
兵器工扶助金	兵器工扶助金	兵器工扶助金	兵器工扶助金
備給及諸給	備給及諸給	備給及諸給	備給及諸給
屯田兵費	屯田兵費	屯田兵費	屯田兵費
雜給及雜費	雜給及雜費	雜給及雜費	雜給及雜費
雜費	雜費	雜費	雜費
	上長官及士官俸給		
	特務曹長		

看守臨時部

職名	職掌	備考	備考
監獄長	監獄事務	近衛親軍兵大隊長	
監獄長	監獄事務	權軍其他直轄	
監獄長	監獄事務	近衛親軍兵大隊長	
監獄長	監獄事務	權軍其他直轄	
監獄長	監獄事務	近衛親軍兵大隊長	
監獄長	監獄事務	權軍其他直轄	

○司法省訓令第二號
 監獄ハ其ノ監獄所在廳府縣ノ留置場ヲ巡視シ其ノ狀況ヲ報告スヘシ
 明治三十六年四月一日
 監獄小坂市谷縣警備川宮城三池
 權軍其他直轄ヲ除ク
 司法大臣男爵清浦奎吾
 監獄

○司法省訓令第三號
 監獄及看守長特別任用令第一條第二項ニ依リ看守考試規則左ノ通相定ム
 明治三十六年四月一日
 司法大臣男爵清浦奎吾
 監獄

看守考試規則
 第一條 看守ヲ看守長ニ任用スニハ先ツ實務ノ成績ヲ考查シ優等者ヲ選拔シテ更ニ學術試驗ヲ行フモノトス
 第二條 看守ノ實務成績ハ考查表ヲ借置キ左ノ項目ニ從ヒ隨時記入スヘシ
 一 姿勢禮式服裝其ノ他紀律ニ關スル事項
 二 職務執行ノ消否
 三 勤務ノ勉否
 四 書類報告ノ整否
 五 特技ノ有無
 六 其ノ他典獄ノ必要ト認メタル事項
 第三條 實務成績ノ考查ハ看守長ノ意見ヲ徵シ考查表ニ照合シテ優劣ヲ判定スヘシ
 第四條 學術試驗ハ左ノ科目ニ從ヒ之ヲ行フ但簿記外國語ハ便宜之ヲ省略スルコトヲ得
 一 監獄ニ關スル諸法規
 二 刑法刑事訴訟法ノ大要
 三 會計法規ノ大要
 四 算術(比例百分算迄)
 五 簿記
 六 外國語
 ○司法省訓令第四號
 女監取締ノ休暇ハ明治十八年七月內務省違番外巡查看守休暇規則ニ依ルヘシ
 明治三十六年四月二十一日
 司法大臣男爵清浦奎吾
 監獄

○農商務省勅令第三號

明治三十三年三月常省勅令第八號農商務統計樣式ハ之ヲ廢止ス

明治三十六年四月二十九日

農商務大臣野澤平田東助

府縣

106

○大藏省勅令第二十號

發視關 北海道關 府 縣 大藏省總務局 造幣局
印刷局 專賣局 税 關 稅務監督局 稅務署
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工事部
本年三月大藏省勅令第十一號明治三十六年度大藏省所管歲入科目表歲入經常部第三款官業及官有財產收入第四項官有物貸下料中ニ第三目物品貸下料ノ目ヲ追加ス

明治三十六年五月七日

大藏大臣野澤平田東助

稅務監督局

○大藏省勅令第二十一號
共局及管内稅務署每年一月四月七月十月各一日ノ現在員並其給額ヲ取調共月十日迄ニ主稅局へ報告スヘシ

但明治二十九年大藏省勅令第一號ハ廢止ス

明治三十六年五月九日

大藏大臣野澤平田東助

道關 府縣

○大藏省勅令第二十二號
明治三十六年勅令第八號ニ依リ地租ノ年賦延納ヲ許可セラレタル者アルトキハ市町村ハ左記樣式ニ準據シタル帳簿ヲ備ヘ之ニ依リ年賦金ノ額定ヲ爲スヘシ
延納ヲ許可セラレタル土地ニ付テハ地租名寄帳當該摘要欄ニ許可年月日及何年分地租 全額又ハ第延納ノ旨ヲ記載スヘシ

明治三十六年五月十二日

大藏大臣野澤平田東助

地租年賦延納額名寄帳
公 署 名

- 凡例
- 一 畑租ニ關スル帳簿ハ本様式ニ依リ編製スルモノトス
 - 二 延納期間内ニ更ニ地租ノ延納ヲ許可セラレタルモノアルトキハ現在額ヲ整理シ掲記スルモノトス

編 要	許 可 額	延 納 期 間	毎 年 納 額	住 所					
				各 年 每 納 期 納 額	第 三 期	第 四 期	第 五 期	第 六 期	
三十六年十月三十日許可	1000	三十七年	800	100	100	100	100	100	100
三十七年十一月十日許可	2000	三十八年	1000	100	100	100	100	100	100
三十七年十一月十日現在		三十九年	1000	100	100	100	100	100	100
		四十年	1000	100	100	100	100	100	100
		三十九年	1000	100	100	100	100	100	100
		三十八年	1000	100	100	100	100	100	100
		三十七年	1000	100	100	100	100	100	100
		三十八年	1000	100	100	100	100	100	100
		三十九年	1000	100	100	100	100	100	100
		四十年	1000	100	100	100	100	100	100

○大藏省訓令第二十三號
 明治三十二年大藏省訓令第四十五號別冊様式中第六號ヲ第六號ノ一トシ左ノ備考及様式ヲ追加ス
 明治三十六年五月十二日 稅務監督局 稅務署
 大藏大臣男爵曾根荒助

第一號ノ一 有租地集計簿

備考
 五 明治三十六年勅令第八號ニ依リ年賦延納ヲ許可シタル地租アルトキハ當該市町村現在額事故内ニ許可年月日延納許可ノ旨及其金額ヲ掲記シ置クモノトス

第二號 地租納額整理簿

備考
 二 明治三十六年勅令第八號ニ依リ年賦延納金ヲ關定シタルトキハ當該市町村現在額事故内ニ其年月日及年賦延納ノ關定ナル旨ヲ記シ事故内ニ其所属納期ヲ掲記スルモノトス
 第六號ノ二 地租年賦延納金整理簿

編 要	許 可 額	延 納 期 間	毎 年 納 額	住 所						
				各 年 每 納 期 納 額	第 三 期	第 四 期	第 五 期	第 六 期		
原由										
地 地 地 地 地 地										
別 別 別 別 別 別										
年 年 年 年 年 年										
納 納 納 納 納 納										
額 額 額 額 額 額										
第 第 第 第 第 第										
三 三 三 三 三 三										
期 期 期 期 期 期										
納 納 納 納 納 納										
額 額 額 額 額 額										

歲出臨時部			
款	項	目	節
應兵費	俸給及諸給	休職俸給	
臨時軍建設部費	俸給及諸給	休職俸給	
砲臺建設費	對馬砲臺建設費	建設費	
千住製鐵所作業費	作場費	建設物補足	

○陸軍省訓令附第十三號
 明治三十六年度管省所管歲入歲出科目表中へ左記ノ通増設ス
 明治三十六年五月十四日
 陸軍大臣寺内正毅
 陸軍一般
 △印付股

歲出臨時部			
款	項	目	節
應兵費	俸給及諸給	休職俸給	
臨時軍建設部費	俸給及諸給	休職俸給	
砲臺建設費	對馬砲臺建設費	建設費	
千住製鐵所作業費	作場費	建設物補足	
軍車費	俸給及諸給	實費	
陸軍本省	俸給及諸給	實費	
修繕費	實費	與	
砲臺建設費	對馬砲臺建設費	建設費	
千住製鐵所作業費	作場費	建設物補足	

○陸軍省訓令第十四號

明治三十六年度當省所管歳入歳出科目表中之左記ノ通増設

明治三十六年五月二十二日

陸軍一級

陸軍省臨時部費	俸給及諸給	家内其他移轉料	住所及器物買取費	依世保確證部費
▲増設	▲増設	▲増設	▲増設	▲増設

歳入臨時部

陸軍大臣寺内正毅
▲印増設

▲増設	▲増設	▲増設	▲増設	▲増設
▲増設	▲増設	▲増設	▲増設	▲増設
▲増設	▲増設	▲増設	▲増設	▲増設
▲増設	▲増設	▲増設	▲増設	▲増設

○司法省訓令第五號

明治三十三年十二月内務省訓令第三十五號押丁給與品及貸與品規定第三條中「夏服」二組四箇月ヲ左記通改正、明治三十六年六月一日ヨリ施行ス

明治三十六年五月二十七日

司法大臣男爵清浦兼善

監獄

一 夏服

二 組

八箇月

但本令施行ノ際給與スル者並ニ新ニ拜命スル者ニハ二組ヲ給シ次年以降ハ毎年一組ヲ給ス

○農商務省訓令第四號

其縣下千葉郡野田村ノ内大穴區楠ヶ山區神保新田區金堀區金堀邊區坪井區古和釜區ヲ今回習志野原御嶽場ニ編入セラルル旨宮内大臣ヨリ照會アリタルニ付此旨心得ヘシ

千葉縣

明治三十六年五月十三日

農商務大臣男爵平田東助
内務大臣男爵内海忠勝

○大藏省訓令第二十五號
明治三十六年度專賣局作業歳入歳出科目中歳出ノ部專賣局作業費、款、事業費ノ項、雜費ノ目ノ末位ニ關稅ノ節ヲ追加ス
專賣局 專賣支局

明治三十六年六月八日
○大藏省訓令第二十六號
明治三十六年三月大藏省訓令第十三號三十六年度專賣局作業歳入歳出科目歳入ノ部雜入ノ目ノ解疏中官舎貸下料ノ下「拾得品賣却代及拾得金」ノ十字ヲ追加ス
大藏大臣男爵曾根克助
專賣局 專賣支局

明治三十六年六月十六日
○大藏省訓令第二十七號
明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ許可セラレタル者アルトキハ明治三十六年五月大藏省訓令第二十二號ニ準據シ其ノ整理ヲ爲スヘシ
大藏大臣男爵曾根克助
道廳 府縣

明治三十六年六月十七日
○大藏省訓令第二十八號
明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ許可セラレタル者アルトキハ明治三十六年五月大藏省訓令第二十三號ニ準據シ其ノ整理ヲ爲スヘシ
大藏大臣男爵曾根克助
稅務監督局 稅務署

明治三十六年六月十七日
○大藏省訓令第二十九號
明治二十二年大藏省訓令第七十號監守證書式並ニ明治二十六年大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程第一號書式中項目ノ欄ヲ削除ス
大藏大臣男爵曾根克助
出納官吏 金庫出納役

明治三十六年六月十八日
大藏大臣男爵曾根克助

○大藏省訓令第三十號

明治三十三年三月大藏省訓令第三號內國稅徵收費科目未位へ營業稅調查費ノ項營業稅調查費ノ目「半價」旅費「雜費」三節ヲ追加ス

稅務監督局

○大藏省訓令第三十一號

大藏大臣男爵曾根克助

明治三十六年六月二十四日

稅務監督局 稅務署

○大藏省訓令第三十二號

大藏大臣男爵曾根克助

明治三十四年十月大藏省訓令第三十九號稅務統計臺帳調製規程左ノ通改正ス

稅務統計臺帳調製規程

第一條 稅務監督局及稅務署ニハ稅務統計臺帳ヲ設備スヘシ

第二條 稅務監督局統計臺帳ハ全管分ト毎府縣分又稅務署統計臺帳ハ全管分ト每郡、市區ノ分ト

第三條 稅務統計臺帳ハ五箇年間繼續記載スルモノトス

第四條 各表ニ備考欄ヲ設ケ前年ニ對スル増減ノ事由及法令ノ改正其他参照トナルヘキ事項ヲ記

載スヘシ但便宜ニ依リ別紙ト爲スモ妨ケナシ

第五條 各表ニハ圓、石、噸、町等ノ單位稱呼ヲ標記シ單位以上ノ數ハ三位毎ニ「ノ」ヲ附シ空欄ニハ

「」ヲ填ムスヘシ

第六條 稅務統計臺帳ニハ其管内地圖ヲ添附シ之ニ國界、郡界、國道、府縣道、里道、鐵道、市、町、諸官

衙公署等ヲ適當標記スヘシ

第七條 稅務統計臺帳ニ登錄スヘキ事項ハ別記様式ニ據ルヘシ但様式ヲ示ササル事項ニシテ必要

ト認ムルモノハ別紙トシハ未規程ニ準シ調製設備スルモノトス

第八條 稅務監督局ハ稅務統計臺帳ノ原本ヲ調製シ別ニ定ムル期限ニ依リ之ヲ主稅局ニ送付スヘシ

附 則

第九條 本規程ニ依リ備フヘキ臺帳ハ明治三十五年分ヨリ調製スヘシ但酒造年度ニ依ルモノハ明

治三十四酒造年度ヨリ調製スルモノトス

(別記)

稅務統計臺帳目錄

- 第一 管區表
- 第二 直接稅負擔額表
- 第三 會社數表
- 第四 有租地畝表
- 第五 免租地畝表
- 第六 年期地畝表
- 第七 變換地畝表
- 第八 改良地畝表
- 第九 整理地畝表
- 第一〇 地租増減表
- 第一一 地租納額別人員表
- 第一二 收穫實無地免租表
- 第一三 收穫實無地地租年賦延納額表
- 第一四 地價最高最低調査表
- 第一五 土地取扱筆數表
- 第一六 土地買賣價格表

- 第一七 土地賃賃價格表
- 第一八 登錄稅表
- 第一九 所得稅表
- 第二〇 第三種所得種類別表
- 第二一 第三種所得調查決定額表
- 第二二 第一種第三種所得審查決定額表
- 第二三 第一種第三種所得更定額表
- 第二四 第一種第三種所得稅納額別人員表
- 第二五 營業稅表
- 第二六 營業稅審查決定額表
- 第二七 營業稅訴訟訴訟ニ依ル決定額表
- 第二八 營業稅法第二十九條ニ依ル更定額表
- 第二九 營業稅納額別人員表
- 第三〇 酒造稅表
- 第三一 含有酒精容量度別酒類査定石高表
- 第三二 含有酒精容量度別燒酎査定石高表
- 第三三 酒造免許場數造石高區分表
- 第三四 十月一日現在持越酒類石高表
- 第三五 酒造稅納稅保證種別表
- 第三六 酒造稅免除表
- 第三七 酒母釀造表

- 第三八 清酒步合表
- 第三九 燒酎步合表
- 第四〇 酒精及酒精含有飲料稅表
- 第四一 酒精及酒精含有飲料稅免除表
- 第四二 麥酒稅表
- 第四三 麥酒稅免除表
- 第四四 三月一日現在持越酒精 酒精含有飲料 麥酒石高表
- 第四五 醫藥用工業用酒精戻稅表
- 第四六 甘蔗植付段別及收穫高表
- 第四七 砂糖製造人員場數表
- 第四八 砂糖査定高表
- 第四九 砂糖消費稅徵收區分表
- 第五〇 砂糖消費稅擔保種別表
- 第五一 輸入原料砂糖戻稅表
- 第五二 醬油稅表
- 第五三 醬油稅免除表
- 第五四 醬油製造營業免許場數造石高區分表
- 第五五 十月一日現在持越醬油石高表
- 第五六 醬油步合表
- 第五七 自家用醬油稅表

- 第五八 賣藥稅表
- 第五九 鑛業稅表
- 第六〇 取引所稅表
- 第六一 骨牌稅表
- 第六二 骨牌稅免除表
- 第六三 骨牌製造免許料分納擔保種別表
- 第六四 稅印押捺表
- 第六五 租稅賦課及課定額表
- 第六六 國稅徵收表
- 第六七 國稅納期別收入歩合表
- 第六八 租稅外諸收入表
- 第六九 國稅滯納表
- 第七〇 直達國稅犯則者表
- 第七一 間接國稅犯則者表
- 第七二 間接國稅犯則行爲別人員表
- 第七三 印紙賣下高及賣捌人員表
- 第七四 物價表
- 第七五 內國稅徵收費現計額表
- 第七六 內國稅徵收費別表

稅務統計臺帳樣式

管内一巡區區	區區ノ距離	備	考
		(一)本表ハ全管分臺帳ノミニ設 備スルモノトス	
		(二)府縣ノ位階ハ府縣町市區町 村大字、字及邊地ヲ記入ス ルモノトス	
		(三)管轄府縣名、町市區名ヲ欄ニ ハ稅務監督局股價ノ分ニ リテハ府縣名ヲ稅務分ニ アリテハ町市區名ヲ記入ス ルモノトス	
		(四)面積ハ方里未満二位ニ止 三位以下切捨ツルモノトス	
		(五)市町村ニシテ大字ナキモ ハ共市町村ヲ一大字ト看做 シ算入掲記シ其數ハ備考ニ 記入スルモノトス	
		(六)管内一巡區區ハ稅務監督局 分ニ在テハ稅務、稅務 ノ分ニ在テハ市町村ノ一巡 區區ヲ記入スルモノトス	
		(七)管内一巡區區及局署ノ距離 ハ順路ニ依リ陸路汽車路等 各區分ニ陸路ハ町位ニ汽車 路ハ區分以下ハ歩合ヲ以テ表 示シ四捨五入シテ分位ニ止 メルモノトス但稅務監督局股 價ノ分ハ局署ノ距離ハ記入 ヲ要セス	
		(八)本表中農勸ヲ生シタルトキ ハ全部次欄ニ改記シ沿革ヲ 備考ニ掲タルモノトス	

昭和十六年六月 第六種公報第十一號 陸軍省陸軍省令第一四三號

直接税負擔額表 其一

市町村税			計			現額合計	備 考
市税	町税	村税	市税	町税	村税		
							(一)戸数人口ハ十二月末日ノ現在ヲ記入スルモノトス
							(二)税額ハ一會計年度間ノ額定額額(前年度分ノ引換引受ヲ加除シタルモノ)ヲ記入スルモノトス
							(三)負擔額ハ四捨五入ノ法ヲ以テ四位ニ止ム
							(四)府縣ヨリ分賦シタル市ノ負擔額ハ之ヲ同率ニ配賦スルモノトス
							(五)町村制ヲ施行セザル地ノ町村税ニシテ町村税ト其性質同一ナルモノハ市町村税ニ合算スルモノトス

1113

第一 管 區 表

局署位置	管轄府縣名 郡市區名	面積	人口	市數	町數	村數	大字數

明治三十二年六月 勅令 大藏省第三十一號 稅務統計簿編製規程

1114

明治三十六年六月 勅令 大藏省第三十二號 稅務統計簿編製規程

第二 直接稅負擔額表 其二

直接國稅		府縣稅		市町村稅		稅額合計	
一戶當	一人當	一戶當	一人當	一戶當	一人當	一戶當	一人當

明治三十六年六月 勅令 大藏省第三十二號 稅務統計簿編製規程

第二

國稅附加稅		備考	年次	戶數	人口	直接國稅	府縣稅	
一戶當	一人當						道府縣稅	附加稅
			何年					

第三 會 社					
備 考	種 別	合 名	合 資	株 式	株式合資
(一)一月一日ノ現在額トス	何 年 業 業 工 業 商 業 水 陸 運 輸 業 其 他 合 計				
(二)増租額ハ内ニモトス (三)改租外ニモトス	何 年 (以下同上)				

表				
合 計	資本總額	拂込資本金	備 考	年 次
			(一)十二月末日ノ現在ニ依リ調理 レ本店ノミヲ指クルモノトス (二)同一會社ニシテ數種ノ營業ヲ 兼スルモノハ主タル一方ニ配 入スルモノトス (三)各業ノ分類ハ下ノ各項ニ依ル モノトス 農業中ニハ農作、森林、牧畜、養 禽、養蠶ヲ含ムモノトス 工業中ニハ織物、紡績、織物、造 物、皮革骨類、木工、冶金、陶磁 器、硝子等化學的工業又ハ其 類似業、飲食料ニ係ル工業(製 鹽、屠畜業、肉工製造業ヲ含ム) 衣服及製鞋ニ關スル業、家具 ニ係ル工業、建築的工業、船車 ノ製造、瓦斯電氣ノ發生及其 分配(光及運動力)、製氷、美術 品、時計、玩具品、印刷、寫真其 他ノ製造業ヲ含ムモノトス 商業中ニハ銀行業、保險業、取 引所、市場、輸出入業、倉庫業、 金銀貸付業、土地建物賃貸業、 飲食店、其他ノ商業ヲ含ムモ ノトス 水陸運輸業ノ中ニハ運送業、 運河業、棧橋業、船舶定製出業、 貨物臨時揚場業ヲ含ムモノトス (四)以上ノ分類ニ依リ種々モノ例 ヘハ漁業、採礦業、掘業、養魚介 業、礦物採掘業、移民會社、土木 建築業、勞力請負業、公ナル開 発業、新聞社、火葬場等ハ其他 ノ備ニ掲此スルモノトス	何 年

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計兼關稅規程

第七 變換										
備考	種別	池沼			山林			收場		
		段別	地價	筆數	段別	地價	筆數	段別	地價	筆數
(一) 歷年ニ依リ 肥入スルモ ノトス	何年 地目變換 地類變換									
	何年 (以下同上)									

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計兼關稅規程

地 表 共ニ									
原野	雜種地	合計			備考	種別			
		段別	地價	筆數					
何年	何年	何年	何年	何年	(一) 一月一日ノ 現在額ヲ肥 入スルモノ トス	何年 地目變換 地類變換			
何年	何年	何年	何年	何年		何年 (以下同上)			

第一〇 地租増減表其一					第九	
種 別	何 年				備 考	種 別
	段別	地價	地租	筆數		
増 之 部					(一) 前年ニ依リテ除却ノ外ハ概算額ヲ記入スルモノトス (二) 地目及地價修正ニハ其修正額ヲ記入スルモノトス (三) 増租額ハ内分書スルモノトス	起 業 地 前年未成功地 本年中起業地 合 計 本年中成功地 未 成 功 地
有 租 地 成						
新 開 免 租 年 期 明						
荒 地 免 租 年 期 明						
低 價 年 期 明						
開 墾 年 期 明						
開 拓 年 期 明						
地 目 變 換						
地 目 變 換 地 價 正						
地 目 變 換 地 租 正						
分 合 筆						
耕 地 面 積 形 狀 變 更 地						
砂 防 地 解 除 正						
誤 認 訂 正 年 分						
既 往 係 屬 年 分						
所 屬 組						
其 他 計						
合						

整理地 表				第八 改良地 表					
種 別	何 年			備 考	種 別	何 年			
	段別	地價	筆數			段別	地價	筆數	
				(一) 前年ニ依リテ記入スルモノトス	起 業 地 前年未成功地 本年中起業地 合 計 本年中成功地 未 成 功 地				

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十二號 地租納額別人員表

地租納額別人員表															
五百圓以上	二百圓以上	百圓以上	五十圓以上	三十圓以上	二十圓以上	十圓以上	七圓以上	五圓以上	三圓以上	二圓以上	一圓以上	五十圓以下	二十圓以下	十圓以下	合計

一四一

第一〇 地租増減表 其二

備考	種別	何年				備考
		段別	地價	地租	率數	
(一)市町村名寄帳ノ一月ニ依リ現在入ス	減之部					
	官地					
	荒地					
	開墾年					
	開拓年					
	地目					
	地目					
	地目					
	地目					
	分					
	併					
	砂防					
	誤					
	既往					
	所共					
合計						

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 地租増減表

一四〇

第一三 收穫皆無地地租年賦延納額表

種別	段別	地價	毎年納額	地 租										筆數
				延 納 許 可 額										
				一年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	
何年	可	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
何年														
田加計														
何年														
田加計														
合計														
田加計														
何年														
(以下同上)														

第一二 收穫皆無地免租表

備考	種別	段別	地價	地租	筆數	備考	第一	
							年次	筆數
(一) 收穫ノ年別ニ依リ此入ストモノトス	何年					(一) 收穫ノ年別ニ依リ此入ストモノトス	何年	
(二) 増徴租額ハ内書スト	田加計					(二) 増徴租額ハ内書スト		
	何年							
	(以下同上)							

地取扱筆數表

應檢	應檢未	登記所へ通知	市町村へ通知	土地登記簿未下付	土地登記簿明下付	登記所へ通知	備考
							(一) 應年ニ依リ記入スルモトス
							(二) 申合書ヲ提出セザルモトニ對シ應分ヲナシタルト申ハ取受ニ合算スルモトス
							(三) 街面不開ノ爲メ返付シタルモハ加算セズ隣檢ノ上返付シタルモノハ加算スルモトス
							(四) 年明けハ荒地及低價地檢察ヲ除キタルモノヲ指肥スルモトス
							(五) 誤謬訂正ハ土地登記ノ範圍事項及地圖ノ誤謬訂正ヲ包含スルモトス
							(六) 土地所有者異動ハ住所氏名ノ異動所有權買得ノ移轉ヲ包含スルモノトス
							(七) 土地登記簿未下付、土地登記簿明下付及登記所ヨリ通知筆數ハ合算ニ掲グルモノトス
							(八) 本表ハ合算分限ノミニ設ケルモノトス

第一四 地價最高最低調査表

種別	何年				備考
	最高	最高	最低	最低	
	場所	段金	場所	段金	
田 地 宅 地 田 地 沼 林 場 野 地					(一) 段金ハ所轄内ノ一月一日ノ現在地價中最高最低ノ一筆ヲ選テ記入スルモノトス (二) 地價平均段金ハ所轄内ノ總段別ニ依リ算出スルモノトス

第一六 土地賣買價格表 (支那支那支那)

種 別	上 等		中 等		下 等		標準地名
	地 價	價 格	地 價	價 格	地 價	價 格	
何 年							土 中 下 下 下
田							
地							
市街宅地							
田							
何 年 (以下同上)							

第一五 土

備 考	種 別	前 年 越 高	收 受	處 分 費	處 分 米
(一) 等 級 依 時 價 之 依 據 區 分 各 等 之 標 準 地 點 及 價 格 之 標 準 (二) 標 準 地 名 大 字 名 迄 之 標 準 地 點 及 價 格 之 標 準	何 年				
	有 租 地 成 地 目 變 換 地 地 換 契 開 關 成 契 年 期 付 與 及 延 長 地 地 及 價 地 復 舊 年 期 付 與 及 延 長 官 地 成 及 免 租 地 成 分 合 訂 正 地 所 有 者 異 動 其 他 計				
	何 年 (以下同上)				

登録税表					第一七		
地價	何年度			備考	種別	上等	
	税額	現金	合計			地價	貸賃價格
□	□	□	□	(一)會計年度ニ依リ記入スルモ ノトス (二)過期納付ハハ 税額合計額ニ 外算スルモ トス	田	□	□
						田	
					畑		
					町村宅地		
					市街宅地		
					畑田		
					何年 (以下同上)		

土地賃賃價格表(莫算地籍調査)						
地價	中等		標準地名	備考	下等	
	賃賃價格	地價			賃賃價格	地價
□	金額	種類	□	(一)等級ヲ定ムルニハ賃賃價格ノ物納ナルトキハ其分額ノ多少ニ依リ金額ノ多少ニ依ル (二)標準地名ハ大字名迄ヲ掲記スルモノトス (三)金額ヲ以テ賃賃價格ヲ定ムルモノハハ賃賃價格ノ數據ニハ記入セズ (四)物品ヲ以テ賃賃價格ヲ定ムルモノハハ賃賃價格ノ換算額ヲモトメテ記入スルモノトス	金額	種類

計		備 考	第二一 第三種所得額		
所得金額	稅 額		種 別	人 員	所得金額
		(一) 翌年三月末日ヲ限 リ記入スルモノト ス (二) 更正ノ結果無資格 ノ欄ニハ當初ノ決 定ニ係ルモノトス (三) 家族ノ人員及所得 金額ハ内計スルモ ノトス	何 年		
			申告額 調査額 洗 定 額 <small>調査會費後納付金等由田 決着額 三額以上ノ修正額ニ於テ決 定額ノ修正額ヲ指ス</small>		
			何 年 (以下同上)		

査決定額表		第二〇					
稅 額	備 考	年 次	田 畑	宅 地 及 其 附 屬	山 林	原 野 及 他 ノ 地 域	礦 業
	(一) 翌年三月末日ヲ限リ 記入スルモノトス (二) 調査額ニハ申告ニ 係ルモノ及無申告ニ 係ルモノヲ合算掲記 スルモノトス (三) 家族ノ人員及所得金 額ハ内計スルモノト ス	何 年					

明治三十六年六月 訓令 大蔵省第三十一號 稅務統計表規則施行細則

第一種第三種所得更正額表

第一種 第三種 合計									備 考
第一種			第三種			合計			
人員	所得金額	稅額	人員	所得金額	稅額	人員	所得金額	稅額	
									(一) 翌年三月末日ヲ限リ 記入スルモノトス
									(二) 決定額欄ニハ最後ノ 決定ニ係ルモノヲ記 入スルモノトス
									(三) 更正ノ結果無資格欄 ニハ其無資格トナリ タル者ニ付更正以 前ニ係ル最後ノ決定 額ヲ示スルモノト ス
									(四) 家族ノ人員及所得金 額ハ内書スルモノト ス

第二種 第一種第三種所得審査決定額表

種 別	第 一 種			第 三 種			合 計
	人員	所得金額	稅額	人員	所得金額	稅額	
何 年							
當 初 決 定 額							
請 求 額							
更 正 額							
更正ノ結果無資格 審査未決額							
何 年 (以下同上)							

明治三十六年六月 訓令 大蔵省第三十一號 稅務統計表規則施行細則

昭和三十一年六月三十日現在 大蔵省第三十二號 税務調査票

一五七

第二四		第一種第三種所得税納額別入										
種別	何年	千圓以上	五百圓以上	百圓以上	五十圓以上	十圓以上	五圓以上	一圓以上	一圓未満	合計	備考	
第一種	何年											
第三種	何年											
(以下同上)												

昭和三十一年六月三十日現在 大蔵省第三十二號 税務調査票

一五八

員表			第二三			
種別	何年	備考	人員	所得金額	税額	備考
第一種	何年	(一) 第一種所得税納額別入				
第三種	何年	(二) 第三種所得税納額別入				
(以下同上)		(三) 家族ノ人員ハ内妻スルモノトス				

營業稅審查決定額表 其三

業種	印刷業		旅館業		飲食業		旅人宿業		料理店業		公同業	
	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額
印刷業												
旅館業												
飲食業												
旅人宿業												
料理店業												
公同業												

第二六

營業稅審查決定額表

業種	物品販賣業		銀行業		保險業		金儲業		物品貸付業		製造業	
	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額
物品販賣業												
銀行業												
保險業												
金儲業												
物品貸付業												
製造業												

何年
算定額
修正
更正理由
更正結果無資格
何年
(以下同上)

昭和四十六年五月一日、訓令、大蔵省第三十號、稅務統計法施行規則施行

昭和三十一年六月六日 第六号 第三十一号 税務調査票

第二六 營業稅審查決定額表 共三

種別	代辦業		仲立業		仲買業		合計	
	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額
何年								
算定額								
請求額								
更正額								
更正理由(キモ)								
更正結果無資格								
何年 (以下同上)								

昭和三十一年六月六日 第六号 第三十一号 税務調査票

第二六 營業稅審查決定額表 共三

種別	人員	税額	船運業		貨物業		船運業	
			人員	税額	人員	税額	人員	税額
何年								
算定額								
請求額								
更正額								
更正理由(キモ)								
更正結果無資格								
何年 (以下同上)								

(一) 翌年三月末日ヲ限リ記入
スルモノトス
(二) 更正ノ結果無資格ニハ
算定通知ニ係ル員數ヲ亦
書スルモノトス

昭和二十六年六月 昭令 六 第六百三十一號 稅務總局 稅務課 課長 官 印

訴訟訴訟 = 依ル決定額表 其三						第二七	
仲立業		仲買業		合計		備考	種別
人員	税額	人員	税額	人員	税額		
						(一) 昭和三十一年三月末日 ヲ限リトス (二) 更正ノ結果無資格 更正ノ理由ナキモノ 更正ノ結果無資格 處分未決額 更正ノ結果無資格 更正ノ理由ナキモノ 更正ノ結果無資格 處分未決額	何年
							(以下同上)

營業稅訴訟訴訟 = 依ル決定額表 其二															
船隻業		貨物運送業		鐵道業		土産業		勞務業		印刷業		窯業		榨食業	
人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額

昭和二十六年六月 昭令 六 第六百三十一號 稅務總局 稅務課 課長 官 印

昭和三十一年六月 勸令 大藏省第三十一號 稅務統計簿規則施行細則

第二八		營業稅法第二十九條ニ依ル決定額						
種別	物産業	銀行業	保險業	金融業	物品貸付業	製造業		
	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額
何年								
決定額								
申請額								
改正理由(ナキモ)								
何年								
(以下同上)								

昭和三十一年六月 勸令 大藏省第三十一號 稅務統計簿規則施行細則

表 其 一		第二七		營業稅		
種別	運送業	倉庫業	運河業	橋樑業	船渠業	代辦業
	人員	税額	人員	税額	人員	税額
何年						
決定額						
申請額						
改正理由(ナキモ)						
改正結果無資格						
處分未決額						
何年						
(以下同上)						

第二八 營業税法

合計		備考	種別	船隻業		貨物運送業		娯遊業	
人員	税額			人員	税額	人員	税額	人員	税額
		(一) 翌年三月末日 ヲ限リ記入ス ルモノトス	何年						
			決定額 減額申立額 改正ノ理由トナシ 何年 (以下同上)						

昭和三十一年六月 訓令 大蔵省第三十二號 稅務統計表編制規程

第二十九條ニ依ル更正額表 其二

土産業		勞務業		印刷業		寫眞業		席貸業		旅人宿業		料理店業		公用事業	
人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額

昭和三十一年六月 訓令 大蔵省第三十二號 稅務統計表編制規程

第三〇 酒 造 稅				
備 考	種 別	免許人員	製造場數	量 石 數
(一) 清酒ハ法定 ノ引減シタ フル石モ トス	何酒造年度			
	清酒			
	三十度以下ノモノ			
	三十度ヲ超ニルモノ			
	濁酒			
	三十度以下ノモノ			
	三十度ヲ超ニルモノ			
	白酒			
	三十度以下ノモノ			
	三十度ヲ超ニルモノ			
味酒				
三十度以下ノモノ				
三十度ヲ超ニルモノ				
燒酎				
廿三度以下ノモノ				
四十五度以下ノモノ				
四十五度ヲ超ニルモノ				
其他燒酎				
四十五度以下ノモノ				
四十五度ヲ超ニルモノ				
合 計				
何酒造年度				
(以下同上)				

表 第二九					
定 高	稅 額	備 考	種 別	千圓 以上	五百圓 以上
酒類總當數					
		(一) 免許人員製造場數ハ九月 末日現在ニ依リ計額 ノヨリ輸入且數額額 ヲ製造スルモノハ主 ルニ一カニ蒸餾他ハ亦 嘗スルモノトス	何 年 何 月 何 日 何 法 何 年 (以下同上)		
		(二) 清酒ニ對スル法定石數 ハ法定ノ引減額ヲ控 除シタルモノヲ指ス			
		(三) 無免許製造ニ係ルモノ ハ免許人員、法定高、稅 額ノ欄ニ外寄スルモノ トス			
		(四) 酒類總當數ヲ記載スル ハ酒類分二十度ヲ超ニ ル清酒、濁酒、白酒、味淋 及酒精分四十五度ヲ超 ニル燒酎トス			
		(五) 稅法第二十三條ノ二第 一項ニ依リ課稅シタル モノハ無免許酒類ノ製 造シタルモノト合算配 入スルモノトス			
		(六) 稅額欄ニハ法定石數若 ハ酒類總當數ニ稅率ヲ 乘シタルモノヲ配入 スルモノトス			

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表製法規程

石高表				第三一	
何 度	、 、	合 計	備 考	種 別	二十度以下
石	石	石			石
				何酒造年度	
				清酒	
				酒	
				白	
				味	
				合 計	
				何酒造年度	
				(以下同上)	

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表製法規程

含有酒精容量度別酒類者石高表									
二十一度	二十二度	二十三度	三十四度	二十五度	二十六度	何 度	、 、	合 計	
石	石	石	石	石	石	石	石	石	石

造免許場數造石高區分表

三百石以上	二百石以上	百石以上	五十石以上	三十石以上	二十石以上	休造	合計	備 考
								(一) 酒造年度中ノ造免許場數ヲ檢査セザルモノニ依リ九月末日ノ場數ヲ記入スルモノトス但願業ニ係ルモノハ各相當額ニ外書スヘシ
								(二) 數種類ヲ製造スル者ノ免許場數ハ主タル一カニ限リテ他ハ赤書スルモノトス
								(三) 稅法第五條第二項ヲ適用シタルモノハ實際製造シタル石數ニ依リ區分記入スルモノトス

第三二

含有酒精容量度別燒酎査定

種 別	三十度以下	三十五度以下	四十六度	四十七度	四十八度	四十九度	五十度
何酒造年度 甘 露 燒 酎 其 他 の 燒 酎 合 計	石	石	石	石	石	石	石
何酒造年度 (以下同上)							

民國三十一年六月...

第三四 十月一日現在持越酒類石高表							
種 別	泡 酒	國 酒	白 酒	味 淋	燒 酎		合 計
					甘 藷 酎	其 他 燒 酎	
何酒造年度 自 發 合 入 計	石	石	石	石	石	石	石
何酒造年度 (以下同上)							

民國三十一年六月...

第三三									
備 考	種 別	一萬石以上		五千石以上		二千石以上		二千石以下	
		以上	以下	以上	以下	以上	以下	以上	以下
	何酒造年度								
	清 酒								
	濁 酒								
	白 酒								
	味 淋								
	燒 酎								
	合 計								
	何酒造年度 (以下同上)								

第三七 酒母、醱製造表

種 別	免許人員	製造場數	檢査石數	
			石	口
何酒造年度 酒 母				
合 計				
何酒造年度 (以下同上)				

第三六 酒造稅

備 考	種 別	清 酒		燗 酒	
		石數	稅額	石數	稅額
(一)免許人員製造場數ハ九 月米口ノ現在ニ依リ罷 入スルモノトス但ニ權 ワ兼造スルモノハ主 ル一カニ限リ他ハ亦 雷スルモノトス	何酒造年度				
	合 計				
	何酒造年度 (以下同上)				

第三八 清

備 考	年 次	清			
		白 米	水	酒	精 酒
(一)酒樽量ハ一石當ノ平均含有酒精量ヲ記入スルモノトス	何 酒 造 年 度	石	石	石	石
(二)合米清ノ端數ハ切捨タルモノトス					

昭和三十一年六月 勸令 大蔵省第三十一號 税務調査規則

酒 歩 合 表

備 考	歩 合				
	白米一石 ノ水	白米一石 ノ酒	白米一石 ノ精酒	白米一石 ノ水	白米一石 ノ酒
(一)原料ニ蒸米等ヲ使用シタルモノハ白米ノ上部ニ又燒酎等ヲ使用シタルモノハ水ノ上部ニ掲記ハルモノトス					
(二)合又ハ合米清ノ端數ハ切捨タルモノトス					
(三)無免許製造ニ係ルモノハ算入セズ					

昭和三十一年六月 勸令 大蔵省第三十一號 税務調査規則

昭和二十六年六月 第六号 酒類及酒精含有飲料課 税務課 課長 田中 一三

第四一 酒精及酒精含有飲料税免除表

種 別	二十一度以下ノモノ		二十一度ヲ超ルモノ			合 計	
	石 数	税 額	石 数	酒 類 税 額	税 額	石 数	税 額
何 年 何 月 何 日							
酒 類 及 酒 精 含 有 飲 料							
合 計							
何 年 (以下同上)							

第四〇

備 考	種 別	免 許 人 員	製 造 場 数
(一) 三月一日ヨリ翌年二月末日マテノ通 計ヲ記スルモノトス	何 年 何 月 何 日		
	酒 類 及 酒 精 含 有 飲 料		
	合 計		
	何 年 (以下同上)		

昭和二十六年六月 第六号 酒類及酒精含有飲料課 税務課 課長 田中 一三

昭和三十一年六月 第六百三十一號 稅務統計書 酒類課 第一九四

第四三 麥酒稅免除表				第四二
年次	石數	稅額	備考	年次
何年	石	■	(一)三月一日ハ 前年二月末日 マテノ通計ヲ 記入スルモ トス	何年

昭和三十一年六月 第六百三十一號 稅務統計書 酒類課 第一九四

麥酒稅表				
免許人員	製造場數	法定石數	稅額	備考
		石	■	(一)免許人員、製造場數ハ 昭和三十一年二月末日現在、石 數ハ三月一日ヨリ翌年 二月末日マテノ通計ヲ 記入スルモノトス (二)無免許製造場ニ係ルモノ ハ免許人員、法定石數、 稅額ノ欄ニ外書スルモノ トス (三)稅額欄ニハ法定石數ニ 稅率ヲ乘シタルモノヲ 記入スルモノトス

昭和三十一年六月一日現在の特種酒類、酒類含有飲料、麥酒石高表

藥用工業用酒精戻稅表

輸入税ヲ課セラレタルモノ		合計		備 考
人員	石 數	石 數	下戻金額	
				(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二)同一人ニシテ數回ニ戻稅ヲ受ケルモノ人員欄ニハ一人トシテ記入スルモノトス (三)同一人ニシテ遺石稅ヲ課セラレタルモノトシテ併用シ又ハ數種ノ用途ニ使用セシ場合其人ノ主タル一カニ基テ他ハ赤符スルモノトス (四)本表ハ稅務署ニ在テハ全管分ニ限リ股割スルモノトス

第四四 三月一日現在の特種酒類、酒類含有飲料、麥酒石高表

種 別	酒 類	酒類含有飲料	麥 酒	合 計	備 考
	石	石	石	石	
何 年					自 移 介 製 入 計
何 年					
(以下同上)					

昭和三十一年六月一日現在の特種酒類、酒類含有飲料、麥酒石高表

明治三十一年六月 勸令 大蔵省第三十一號 稅務統計表規則

砂糖製造人員、場數表						第四六 甘蔗植付段別			
不白	白	白下	糖蜜	糖水	合計	備考	年次	植付段別	收穫高
						(一)十二月末日現在ニ依リ記入スルモノトス (二)敷種類ヲ製ハ方他ニ製スルモノトス	何年		

明治三十一年六月 勸令 大蔵省第三十一號 稅務統計表規則

及收穫高表		第四五			
備考	種別	造石稅ヲ課セラレタルモノ			
		人員	石數	酒精總量	下戻金額
(一)歷年ニ依リ記入スルモノトス	何年度				
	製糖用				
	苦味丁機				
	甘味石機				
	製角糖機				
	何計				
	工業用				
	石鹼製造用				
	烟草製造用				
	火薬製造用				
	何計				
	合計				
	何年度				
	(以下同上)				

第五一 輸入原料砂			
備 考	種 別	何 年	
		人 員	量 口
(一) 曆年ニ依リ配入スルモノトス但シ免許人員、製造場數ハ十二月末日現在ニ依ル (二) 取種ノ製造ヲ能スルモノ、人員、場數ハ主タルー方ニ照會シ他ハ添書スルモノトス (三) 糖油稅則第一條第二項本文ニ該當スルモノハ十二月末日ノ現在ニ依リ其人員ヲ備考ニ掲記スルモノトス (四) 無免許製造ニ係ルモノハ免許人員、並定石數、稅額關ニ外書スルモノトス (五) 自家用糖油稅法第八條ニ依リ課稅シタルモノハ無免許製造ニ係ルモノト合算配入スルモノトス (六) 稅額關ニハ定石數ニ稅率ヲ乘シタルモノヲ配入スルモノトス	輸入原料糖		
	第一種		
	第二種		
	合 計		
	製 成 糖		
	第三種		
砂			
第四種			
砂			
水			
砂			
合 計			

糖戻稅表		第五〇						
度	戻稅金額	備 考	種 別	前年度ヨリ超過				
				保 稅 物	金 額	量	口	計
		(一) 會計年度ニ依リ配入スルモノトス (二) 同一人ニシテ數回ニ課稅ヲ受ケルモノ人員ハ一人トシテ計算スルモノトス (三) 同一人ニシテ數種類ヲ使用セシトキハ其人員ハ主タルー方ニ照會シ他ハ添書スルモノトス (四) 製成糖ハ量目ノミヲ記載スルモノトス	何 年 度					
			合 計					
			何 年 度					
			(以下同上)					

第五五				
備 考	年 次	査定未済附味	査定済附味	
(一) 曆年ニ依リ記入スルモノトス (二) 製成醬油石數ハ番醬油ヲ合算スルモノトス (三) 税則第二條本文ニ依ルモノニ就キ算出スルモノトス	何 年	石	石	

一月一日現在持越醬油石高表					
製成醬油	生引留	業引留	ニ ー ラ	混和留	備 考
石	石	石	石	石	(一) 營業者ノ持越ニ係ルモノ、ミマ記入スルモノトス

明治三十二年六月一日 大蔵省第三十一號 稅務院行憲法附屬法

家用醬油稅表						
第三種		第四種		合計		備 考
人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	
						(一) 人員は其年十二月末日 ノ現在數ヲ記入スルコト トス (二) 稅額ハ會計年度中ノ賦 課額總計ヲ記入スルコト トス

二二

第五六 醬油歩合表

年 次	製成醬油石數	使用醬油石數	製成醬油一石ニ 對スル使用醬油
何 年			

明治三十二年六月一日 大蔵省第三十一號 稅務院行憲法附屬法

二二

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規程

二五

第五八 賣 藥 稅 表

年 次	營業人員	力 數	營業稅額	貼用印紙高	購買人員

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規程

二四

第五七 自

備 考	年 次	第一種		第二種	
		人員	稅額	人員	稅額
(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトモ但シ人員力數ハ三月末日ノ現在ニ依ル (二)營業、精製ヲ兼タル場合ニ於テハ各一人トシテ記入スルモノトス	何 年				

第九五 賦

備 考	種 別	賦 業 税		
		製造数量	製造物価格	税 額
(一)取引所敷ハ翌年ニ依 月末日ノ現在ニ依 リ主タル一カニ 審シ他ハ亦モ モノトス	何 年 度			
	金 銀 銅			
(二)変更約定代金ハ其 年三月一日ヨリ 年二月末日マ 通計ヲ記入 ノトス	石 炭 油			
	合 計			
(三)税額關ニハ買約 定代金ニ稅額ヲ シタルモノ スルモノトス	何 年 度			
	(以下同上)			

昭和十一年三月三十一日 第六百九十二号 国税庁 賦税課

業 税 表

賦 區 税			税 額 合 計	備 考
賦 區 數	坪 數	税 額		
				(一)會計年度ニ依リ記入ス ルモノトス但賦區數 坪數ハ三月末日ノ現在 ニ依ル
				(二)賦税額關ニハ製造物 價格ニ稅額ヲ乗シタル モノヲ記入スルモノト ス
				(三)賦區税ニ關スル事項及 税額合計ハ會計關ノミ ニ掲クルモノトス

昭和十一年三月三十一日 第六百九十二号 国税庁 賦税課

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規程

牌 稅 表				
製造組數	貼用印紙額	取 賣		備 考
		人 員	所 數	
				(一)原料ハ昨年ニ依リ人員、所數ハ十二月末日現在組數及貼用印紙金額ハ會計年度ニ依リ記入スルモノトス (二)取賣所ヲ有セザルモノノ人員ハ販賣人員ノ額ニ外付スルモノトス

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規程

第六〇 取 引 所 稅 表			
種 別	取引所數	買入約定代金	稅 額
何 年			
國 債 證 券			
地 方 債 證 券			
合 計			
何 年			
(以下同上)			

昭和十六年六月 附令 大藏省第三十一號 稅務統計表調製規程

第六四 稅			
整年度ニ 對ル稅額	備 考	種 別	請求人氏
	(一)會計年度ニ依リ調整レ六 月末日ノ現計ヲ攝クルモ ノトス	何 年 度 株 券 債 券 手 形 銀行貯金總額 受 取 書 其 他 合 計	
	(二)前年度分賦課額ノ額ニハ 田租前年第六期額、前年 度調定不足額、前年度徵 收納付額、前年度收入未 済額ヲ合算記入スルモノ トス	何 年 度 (以下同上)	
	(三)調定超過額ノ額ニハ調定 外賦納額ヲ合算記入スル モノトス		
	(四)累年度ニ依ル稅額ノ額ニ ハ田租前年第六期額、前年 度調定不足額、徵收納付 額、前年度收入未済額、年 度所屬額ヲ合算記入スル モノトス		
	(五)砂抽消費稅ニ在テハ收入 印紙ヲ以テ徵收セシモノ ハ賦課額及調定済額ニ 外算スルモノトス		
	(六)水費ハ稅務署ニ在リテハ 全管分ニ限リ股額スルモ ノトス		

第六三 骨牌製				
押 印 數	稅 額	備 考	年 次	種別ヲ記載シ タル計書
		(一)會計年度ニ依リ記入 スルモノトス	何 年	
		(二)同時ニ二種以上ノ請 求ヲナシ及ハ同一人 ニシテ數回請求ヲナ シタル組合人其ハ各 一人トシテ攝クルモ ノトス		

昭和十六年六月 附令 大藏省第三十一號 稅務統計表調製規程

昭和三十一年六月一日 大蔵省第三十一號 稅務統計規則施行規則

表 第六 (本年度所屬ノ分)

収入額	減損額	収入額 課税額へ繰込	収入歩合	備 考	種 別
				(一) 収入未済額翌年度へ繰越ノ額ニハ翌年度六月末日現在ノ収入未済額ヲ掲クルモノトス	何 年 度 地 租 田 租 如 租 、 計 所 得 稅 、 合 計
				(二) 収入歩合ハ調定済額(調定外課納額ヲ含ス)ニ對スル収入額ノ歩合ニシテ零以下三位ニ止メ其ノ他ハ切捨ツルモノトス	何 年 度 (以下同上)
				(三) 本表ハ其一共ニトモ稅務署ニ在テハ全管分ニ限リ設ケス	

第六五 租 稅 賦 課 及 調 定 額 表

賦課額	課税率 上乗率	既往ニ 課税額	前年度分 賦課額	調定額 過額	合 計	課税額及 課税外額	課納處分 引受額	課納處分 引受額

昭和三十一年六月一日 大蔵省第三十一號 稅務統計規則施行規則

明治三十六年六月 訓令 大蔵省第三十一號 稅務統計簿規則施行細則

第六六 國稅徵收表 其二 (既往年度所屬ノ分)						
種 別	調定額	調定外 課納額	合 計	收入済額	欠損額	收入未済 額(翌年度 へ繰越)
何 年 度						
地 租						
田 租						
所 得 稅						
合 計						
何 年 度 (以下同上)						

三六

明治三十六年六月 訓令 大蔵省第三十一號 稅務統計簿規則施行細則

第六六 國稅徵收				
備 考	種 別	調定額	調定外 課納額	合 計
(一)前年度ヨリ繰越ニ係ルモノ ヲ掲グルモノトス	何 年 度			
(二)收入未済額翌年度へ繰越ノ 間ニハ三月末日ノ收入未済 額ヲ掲グルモノトス	地 租			
	田 租			
	所 得 稅			
	合 計			
	何 年 度 (以下同上)			

三六

第六十七		第六十七			
収入歩合	備 考	種 別	納		
			六 期	一 期	二 期
	(一) 収入未済年度(前年度)の繰上り収入(現在)の収入	何 年 度 田 租 市街宅地租 第三種所得税 酒 税 油 税 自家用油 製 糖 製 菓 製 粉 製 油 製 糖 製 菓 製 粉 製 油			
	(二) 収入未済年度(前年度)の繰上り収入(現在)の収入	何 年 度 (以下同上)			
	(三) 収入未済年度(前年度)の繰上り収入(現在)の収入				
	(四) 本表に於ける収入未済年度(前年度)の繰上り収入(現在)の収入				

税納期別収入歩合表

期 別 区 分						備 考
三 期	四 期	五 期	前半年分 又ハ前期	後半年分 又ハ後期	全年分	
						(一) 會計年度ニ依リ記入 スルモノトス
						(二) 歩合ハ固定歩合(期 定外額納額ヲ合ス) ニ對スル納額比トシテ 收入歩合ノ歩合ニレ テ算出シテ三位ニ止 メ其ハ切捨ツルモ トス
						(三) 地租、所得税、營業税、 自家用油税、製糖、 製菓、製粉、製油、 製糖、製菓、製粉、 製油ノ歩合ハ市町 限後三日以内ニ送付 シテ入金庫ニ送付レ タルモノモ納期限比 ノ收入歩合トシテ算 出スルモノトス

其二 (既往年度所屬ノ分)				
収入済額	缺損額	収入未済額翌年度へ繰越	備 考	種 別
			(一)前年度ヨリ繰越ニ係ルモノトス (二)収入未済額ニハ三月末ノ現在額ヲ指ス	何 年 度 印 紙 收 入 收 入 印 紙 現 金 收 入 骨 牌 印 紙 同 様 票 紙 等 辦 達 金 金 返 納 金 金 合 計 何 年 度 (以下同上)

第六八 租稅外諸收入表 其一 (本年度所屬ノ分)

調定済額	調定外額納額	合 計	収入済額	缺損額	収入未済額翌年度へ繰越

昭和二十六年六月 昭令 大藏省第三十一號 稅務總務司 稅務課 課長 官 印

第七〇 直接國稅犯則

種 別	處 分 濟 人 員				罰 金
	自首免刑	時 效	處 罰	合 計	
何 年 度 地 租 稅 所 得 稅 管 業 稅 合 計					
何 年 度 (以下同上)					

三三三

著 表

第六九

料 金			追 徴 稅 金	備 考	種 別	督 催 狀 人 員
料 料	合 計					
				(一) 曆年ニ依リ記 入スルモノト ス	何 年 度 地 租 稅 田 租 稅 如 計 稅 所 得 稅 合 計	
					何 年 度 (以下同上)	

昭和二十六年六月 昭令 大藏省第三十一號 稅務總務司 稅務課 課長 官 印

三三三

		第七一				
各附	備考	種別	犯則 總長	通告 行書	罰金	
					有印	無印
		酒 證 稅 炭 酒 稅 合 計				
		何 年 (以下同上)				
	(一) 曆年ニ依リ犯入スルモノトス					
	(二) 通告及執行ノ者及被罰者ノ定入員ヲ指スルモノトス					
	(三) 一稅法中ノ數ノ併合タルニシテハ赤書ニシテモハ水ノ備考ハ以下之ヲ適用ス					

間 接 國 稅 犯 則 者 表

被罰者 姓名 住所	犯則ノ事由	罰 料 金			追徴金	沒收品 價格	犯則處 分費	備 考
		罰金	料料	合計				
								(一) 曆年ニ依リ犯入スルモノトス
								(二) 犯則總長ニハ其年檢査ノ結果如何ニ依リテ追徴金ノ額ヲ決定スルモノトス
								(三) 罰金料料ニシテハ赤書ニシテモハ水ノ備考ハ以下之ヲ適用ス

明治三十六年六月 勸令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規則

人員表 其二 酒類及酒類含有飲料稅					年 次
酒類及酒類含有飲料稅 の課税額	酒類及酒類含有飲料稅 の課税額	酒類及酒類含有飲料稅 の課税額	酒類及酒類含有飲料稅 の課税額	合 計	
					何 年

明治三十六年六月 勸令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規則

第七二 間接國稅犯則行為別人員表 其一 酒類稅法									
酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額	酒類稅法 の課税額

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計簿規則規程

第七二 間接國稅犯則行為別人					
合計	備考	年次	消費稅の付加又ハ課税	酒類稅の付加又ハ課税	たばこ稅の付加又ハ課税
			額	額	額
		何年			

二四三

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計簿規則規程

第七二 間接國稅犯則行為別人				
合計	備考	年次	消費稅の付加又ハ課税	酒類稅の付加又ハ課税
			額	額
		何年		

二四三

明治三十六年六月 勅令 大藏省第三十一號 稅務統計表規則

二四七

間接國稅犯則行為別人員表 其七 骨牌稅法

自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ販賣シタル者	自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ自家用骨牌ヲ製造シタル者	自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ自家用骨牌ヲ製造シタル者	自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ自家用骨牌ヲ製造シタル者	自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ自家用骨牌ヲ製造シタル者	合計

明治三十六年六月 勅令 大藏省第三十一號 稅務統計表規則

二四八

第七二 間接國稅犯則行為別人員表 其六

備考	年次	自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ販賣シタル者	自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ自家用骨牌ヲ製造シタル者	自家用骨牌製造者其ノ製造シタル骨牌ヲ自家用骨牌ヲ製造シタル者
	何年			

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規則

第三十一號			
第七二 間接國稅犯則行為別人			
備	考	年	次
		何 年	
		<small>課税額に相當する 引当金を賦課し た額を以てする者</small>	
		<small>課税額に相當する 引当金を賦課し た額を以てする者</small>	

明治三十六年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規則

員表 此八 印紙稅法			
第七二			
課税額に相當する 引当金を賦課し た額を以てする者	合	計	備
		考	
		年	
		次	
		何 年	
		<small>課税額に相當する 引当金を賦課し た額を以てする者</small>	

明治三十二年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規程

賣捌人員表			第七二	
賣 人 員			備 考	年 次
扶助者ヲ受ケル者	一般人民	合 計		
			(一)會計年度ニ依リ 記入シ人員ハ一 月一日ノ現在 揚タルモノトス (二)賣下印紙高欄ニ ハ顔面金額ヲ揚 タルモノトス	何 年

三五

間接國稅犯則行為別人員表 其九 賣捌印紙稅規則及明治十九年大藏省令第						
賣捌者ニシテ 印紙ノ賣捌ヲ 賣シタル者	賣捌者ニシテ 印紙不足ノ賣捌 ヲ賣シタル者	賣捌者ニシテ 印紙ノ賣捌ノ 額ヲ超過シタル ノ賣捌シタル者	賣捌者ニシテ 印紙ノ賣捌ノ 額ヲ超過シタル ノ賣捌シタル 者	貼用印紙ニ シテ 賣捌シタル者	賣捌者ニシテ 印紙ノ賣捌 ノ額ヲ超過 シタル者	合 計

明治三十二年六月 訓令 大藏省第三十一號 稅務統計表編纂規程

三五〇

		第七四 物 價					
備 考	種 別	鹽	酒類	麥酒	黒砂糖	赤砂糖	白砂糖
(一)會計年度ニ係リ五月現クモ (二)本監リモ府セ	何 年						
	上						
	二 六 十 平						
	中						
	二 六 十 平						
	下						
	二 六 十 平						
	總 平 均						
何 年							
	(以下同上)						

表 其二

		第七四					
備 考	種 別	白下	氷砂糖	糖蜜	糖水	甘蔗	
(一)卸賣價格ヲ記スルモノトス (二)酒類ハ百斤其ノ他ノ酒類ハ百斤ニ對シテ (三)氷液ハ全管分ニ對シテ (四)六月ハ清酒ノ區分ヲ古酒ニ對シテ	何 年						
	上						
	二 六 十 平						
	中						
	二 六 十 平						
	下						
	二 六 十 平						
	總 平 均						
何 年							
	(以下同上)						

昭和三十一年六月 訓令 大蔵省第三十一號 稅務統計簿類規程

第七五							
年次	備考	合計	税額	及給			
				養老給	遺族給	遺失給	死亡給
何年	(一) 二十五年七月 月間ニシテ 製スルモノ トス						
	(二) 本邦ハ稅務 限ルニシテ 海關ニシテ 府縣別 モ別 セ						

二五七

内國稅徵收費現計額表

内國稅徵收費現計額表														
體給	伏與	計	認費	修繕費	遊覽	贈及贈	雜及費	所得稅	市町支金	市町支金	市町支金	市町支金	市町支金	合計

昭和三十一年六月 訓令 大蔵省第三十一號 稅務統計簿類規程

二五六

